

2000 年秋季年会

年会プログラム

於 群馬県総合教育センター

2000年10月5日(木)～10月7日(土)

日本天文学会

日本天文学会 2000 年秋季年会プログラム

場 所 群馬県総合教育センター (案内図参照)

〒 372-0031 群馬県伊勢崎市今泉町 1-233-2

電 話・FAX 090-4387-6893 <使用期間 2000年10月4日(水)～10月8日(日)>

日 程

時刻 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

月日	会場	分 野									
10月4日 (水)	B					記者会見					
10月5日 (木)	A	R. 銀 河	昼 休 み	ポ ス タ ー / ビ ジ ネ ス ア ワ ー	ポ ス タ ー	天 文 教 育 フ ォ ー ラ ム	LMSA 特 別 セ ッ シ ョ ン				
	B	X. 情報/Y. 教育									
	C	L. 太陽系									
	D	Q. 星 間									
	E	V. 地上観									
	F	B. 銀河形成									
	G	A. 突発天体									
10月6日 (金)	A	R. 銀 河	ポ ス タ ー	(評 議 員 会) 昼 休 み	ポ ス タ ー / ビ ジ ネ ス ア ワ ー	ポ ス タ ー	R. 銀 河	総 会	研 究 奨 励 賞 受 賞 記 念 講 演	懇 親 会	
	B	J. 位置/K. 天力					U. 宇宙論				
	C	N. 恒 星					N. 恒 星				
	D	Q. 星 間					P. 星形成				
	E	V. 地上観					V. 地上観				
	F	M. 太陽					M. 太陽				
	G	A. 突発天体					S. 銀河核				
10月7日 (土)	A	T. 銀河団	ポ ス タ ー	(理 事 会) 昼 休 み	ポ ス タ ー / ビ ジ ネ ス ア ワ ー	特 別 講 演	T. 銀河団	エクスカーション			
	B	W. 飛翔観					W. 飛翔観				
	C	N. 恒 星					N. 恒 星				
	D	P. 星形成					P. 星形成				
	E	V. 地上観									
	F	M. 太陽					M. 太陽				
	G	S. 銀河核					S. 銀河核				
10月8日 (日)	A					公開講演会 (一般対象)					

A 会場 : 講堂 (本館2階)

B 会場 : 本館 401号室 (4階)

C 会場 : 本館 402号室 (4階)

D 会場 : 本館 404号室 (4階)

E 会場 : 本館 406号室 (4階)

F 会場 : 本館 702号室 (7階)

G 会場 : 本館 704号室 (7階)

受 付 : 本館ロビー (8:30から)

ポスター会場 : 体育館

懇親会場 : ニューいづみ
(会場より徒歩5分)

ビジネスアワー:

ビジネスアワーには、集会や会合を
開くことができます。

◎講演数・参加費用

講演数 合計 431 うち、

口頭講演 (a) : 237、ポスター講演 (b) : 160、ポスター講演 (c) : 34

基本登録料：会員 3,000 円、非会員 5,000 円 (1 講演分の講演登録料を含む)

追加講演登録料：3,000 円 (追加 1 講演につき)

年会予稿集：2,000 円 (購入希望者のみ)

※基本登録料・追加講演登録料は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は 7 会場で併行して行います。口頭講演 (添字 a) は、口頭発表 10 分、質疑応答 5 分です。ポスター講演 (添字 b) は、口頭発表 3 分、4 講演で 15 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表 (添字 b)、(添字 c) は、3 日間掲示できます。ポスターは縦 180 × 横 120 cm まで掲示できます。ポスター会場の指定された場所に、10 月 5 日の 8:30 から 10 月 7 日の 15:00 まで掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。
3. 講演には OHP をご使用下さい。(ビデオ、液晶プロジェクターの使用については、事前に申し込みが必要です。)

◎会期中の行事

1. 記者会見 : 4 日 (水) 13:30 ~ B 会場
学会講演の中から、3~4 のトピックスを選び、記者会見を行います。
2. 天文教育フォーラム : 5 日 (木) 14:30 ~ 16:00 A 会場
3. LMSA 特別セッション : 5 日 (木) 16:10 ~ 18:00 A 会場
4. 評議員会 : 6 日 (金) 12:00 ~ 13:00 会議室
5. 総会 : 6 日 (金) 16:00 ~ 17:30 A 会場
主な議題 = ○新役員 (理事、監事) の承認
○選挙管理委員の承認
○2001 年度事業計画 (案)
○2001 年度収支予算 (案)
6. 研究奨励賞受賞記念講演 : 6 日 (金) 17:30 ~ 18:00 A 会場
7. 懇親会 : 6 日 (金) 18:30 ~ ニューいずみ
8. 理事会 : 7 日 (土) 12:00 ~ 13:00 会議室
9. 特別講演 : 7 日 (土) 15:00 ~ 15:40 A 会場
10. エクスカーション : 7 日 (土) 16:00 ~ ぐんま天文台
11. 公開講演会 : 8 日 (日) 14:00 ~ 17:00 A 会場

◎天文教育フォーラム（天文教育普及研究会と共催）

日時・場所：2000年10月5日（木）14：30～16：00 A会場（講堂）

テーマ：『新世紀のプラネタリウム利用を提案しよう』

概要：いま、科学館や博物館などへの入場者数が減少しています。もっとも顕著な例が、プラネタリウム館。例えば、老舗の五島プラネタリウム（東京・渋谷）が来年3月で閉館します。天文教育・普及に大いに貢献してきたプラネタリウムは、もはや、その役割を終えたのでしょうか？いいえ、決してそんなことはありません。例えば、2002年から実施される新学習指導要領の下では、学校5日制の導入などによって、社会教育施設のさらなる活用が求められています。また、大学の授業でプラネタリウムを利用するなどの事例も始まっています。

そこで今回のフォーラムでは、日本のプラネタリウム界の現状を紹介するとともに、全国に300館も存在するプラネタリウム館が、天文教育・普及において今後どのような役割を果たし得るのかを、多角的に議論したいと思います。

参加費：天文教育フォーラムのみの参加者は、参加費（基本登録料）は不要です。年会受付で、その旨お伝え下さい。

実行委員：縣 秀彦（国立天文台）、山縣朋彦（文部省）
浜根寿彦（ぐんま天文台）、鈴木文二（埼玉県立三郷工業技術高校）

問い合わせ先：縣 秀彦（h.agata@nao.ac.jp）

◎LMSA 特別セッション

（日本学術会議 天文学研究連絡委員会、同 天文学国際共同観測専門委員会と共催）

日時・場所：2000年10月5日（木）16：10～18：00 A会場（講堂）

概要：『すばる』に続く地上大型観測装置として構想されてきたLMSA（大型ミリ波サブミリ波干渉計）は、日米欧による「国際大型干渉計」として建設を進める方向で現在世界各国で仕様の詰めと予算要求が行われています。このセッションでは、国際的な視野から、その科学的ポテンシャルを他波長の装置とも関連づけながら紹介するとともに、計画の進捗状況をお知らせし、計画推進をより確かなものにするために広く討論する機会を持ちたいと思います。ふるってご参加ください。

世話人：長谷川哲夫（東京大学天文学教育研究センター）

◎特別講演

日時・場所：2000年10月7日（土）15：00～15：40 A会場（講堂）

講演者：高部英明（大阪大学レーザー核融合研究センター・教授）

題目：「高強度レーザーを用いた実験室天体物理」

概要：ハッブル宇宙望遠鏡に代表される観測技術の急速な向上により、高度な宇宙・天体物理の理論・シミュレーション研究が要求されて来ている。それは、ミクロな物理とマクロな物理が密に絡んだ複合現象を対象としており、要素物理モデルが妥当かどうか実験による検証を必要としている。星の進化を中心とする天体物理の解明に必要なミクロ、マクロの物理のかなりの部分が、高強度レーザーを用いた実験室での模擬実験で検証し得ると考えている。主に、超新星爆発の多次元流体の物理機構や超新星残骸の爆風波に伴う流体・原子過程。AGNやブラックホール周りや、ガンマ線バーストで重要となる電子・陽電子プラズマ。光電離非平衡プラズマによるX線レーザー天体の可能性などを現在研究している。研究の現状を紹介すると共に、当センターの高出力大型レーザー「激光XII号」を用いた宇宙ジェットの実験結果や、今後の実験計画について述べる。このように、レーザーによる天体模擬実験を物理統合型のシミュレーションコードを介して、天体物理解明とリンクさせていく新たな天体物理の研究分野について、米国の動きなども含め紹介したい。

【参考文献】

- [1] 小特集：高強度レーザーを用いた実験室宇宙物理
高部英明編、プラズマ・核融合学会誌 74, 1254-1309(1998).
- [2] Modeling Astrophysical Phenomena in the Laboratory with Intense Lasers
B. A. Remington, D. Arnett, R. P. Drake, and H. Takabe Science, 284, 1488-1493 (1999).
- [3] A Review of Astrophysics Experiments on Intense Lasers
B. A. Remington, P. Drake, H. Takabe, and D. Arnett Physics of Plasmas 7, 1641-1652 (2000)

◎日本天文学会公開講演会（群馬県、群馬県教育委員会後援）

テーマ：「現代天文学・宇宙への挑戦！」

日時：2000年10月8日（日）14：00～17：00（13：30開場）

場所：群馬県総合教育センター 講堂（A会場）

対象：中学生以上・一般

講演Ⅰ：「宇宙を考える」

「宇宙を見ない」で「宇宙を考える」とどうなるでしょう？

「星の宇宙」「火の玉宇宙」「量子宇宙」は何に答えようとしているのか？

講演者：京都大学・教授 佐藤 文隆

講演Ⅱ：「宇宙を観る」

ガリレオが口径4センチの望遠鏡で宇宙を見てから、400年。

口径8メートルの「すばる」は、宇宙に何を見るだろう。

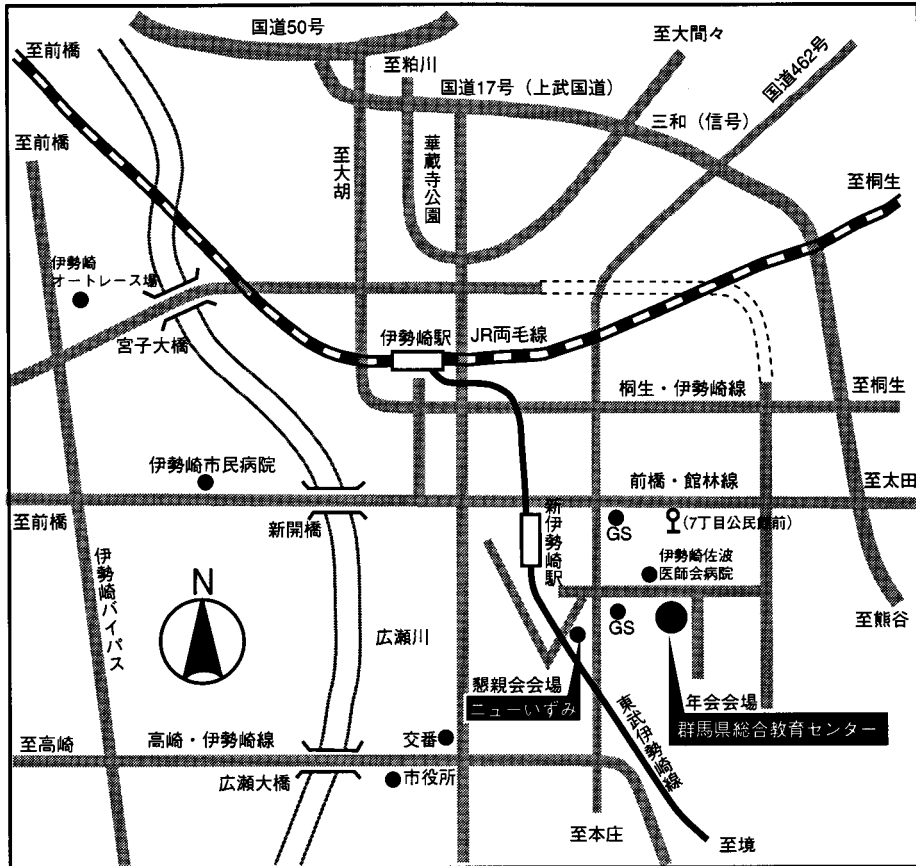
宇宙に「果て」は、あるのだろうか？

講演者：国立天文台・台長 海部 宣男

※入場無料、事前の参加申し込みは不要です。当日ご自由においで下さい。

ただし、会場の都合で入場を制限する場合がございますので、早めにご来場下さい。

秋季年会会場（群馬県総合教育センター）のご案内



交通案内

・鉄道

JR 両毛線／伊勢崎駅下車 2.5km（タクシー約 5 分）

東武伊勢崎線／新伊勢崎駅下車（徒歩約 10 分）

伊勢崎駅発群馬中央バス／太田伊勢崎線 7 丁目公民館前下車（徒歩約 3 分）

東京から

JR 両毛線は高崎線高崎駅、または宇都宮線小山駅で乗換

東武伊勢崎線は浅草始発、北千住経由（浅草駅より約 2 時間）

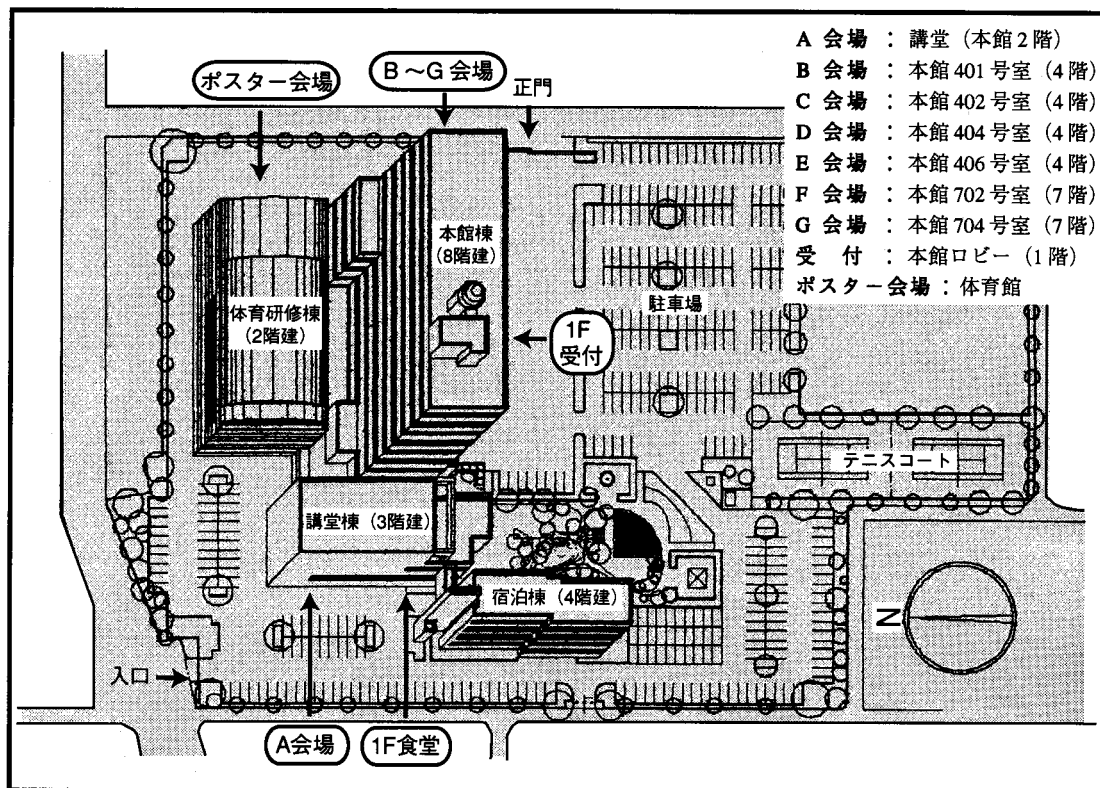
伊勢崎には JR 高崎線本庄駅から 1 時間に 1 本程度のバスの便もある

・自動車

関越自動車道／本庄児玉 I.C. から 国道 462 号線を利用

会場の駐車場は無料で利用できます

年会会場案内図



エクスカーション

昨年7月に開設された県立ぐんま天文台へのエクスカーションを計画しています。県立ぐんま天文台は口径1.5mの反射望遠鏡を中心とした国内有数の規模の天文台で、学術研究とともに広い教育・普及活動も目指しています。

この機会に是非皆さんでお越しください。施設見学の他、晴天の場合は1.5m望遠鏡を用いた観望会を予定しています。参加ご希望の方は下記の連絡先までお知らせください。

なお、自家用車での参加も可能です。この場合は、バスの申込は不要です。ご希望の方はお問い合わせください。また、バス、自家用車にかかわらず、駐車場から天文台までは約600mの遊歩道(徒歩10分)を歩いていただきます。

日 程 : 2000年10月7日(土)

16時00分 総合教育センター(伊勢崎市)発

17時30分 県立ぐんま天文台着 — 施設見学、1.5m望遠鏡による天体観望、他 —

21時30分 高崎駅着 解散

交通手段 : バスまたは自家用車

連絡先 : 県立ぐんま天文台(担当: 橋本 修)

電話 : 0279-70-5300, 電子メール : nenkai@astron.pref.gunma.jp

申込締切 : バス定員が満員になるまで。詳しくはお問い合わせください。

自家用車利用の場合もお問い合わせください。

口頭セッション

10月5日(木)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
	【銀河】	【情報】	【太陽系】	【星間】	【地上観】	【銀河形成】	【突発天体】
09:30	R01a	X01a	L01a	Q01a	V01a	B01a	A01a
09:45	R02a	X02a	L02a	Q02a	V02a	B02a	A02a
10:00	R03a	X03a	L03a	Q03a	V03a	B03a	A03a
10:15	R04a	X04b, X05b X06b, X07b	L04a	Q04a	V04a	B04a	A04b, A05b
		【教育】					
10:30	R05a	Y01a	L05a	Q05a	V05a	B05a	A06a
10:45	R06a	Y02a	L06a	Q06b, Q07b Q08b, Q09b	V06a	B06a	A07a
11:00	R07a	Y03b, Y04b Y05b, Y06b	L07a	Q10a	V07a	B07a	A08a
11:15	R08a	Y07b	L08a	Q11a	V08a	B08a	A09a
11:30	R09b, R10b R11b, R12b		L09b, L10b L11b, L12b	Q12a	V09a	B09a	A10a
11:45	R13b, R14b R15b, R16b		L13b, L14b L15b, L16b	Q13a	V10b, V11b V12b, V13b	B10a	A11b, A12b A13b, A14b
12:00			L17b	Q14b, Q15b Q16b		B11b, B12b B13b	
	昼休み						
13:00	ポスター						
14:30	天文教育フォーラム						
16:00	LMSA特別セッション						
18:00							

口頭セッション 10月6日(金)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
	【銀河】	【位置天力】	【恒星】	【星間】	【地上観】	【太陽】	【突発天体】
09:00	R17a	J01a	N01a	Q17a	V14a	M01a	A15a
09:15	R18a	J02a	N02a	Q18a	V15a	M02a	A16a
09:30	R19a	J03a	N03a	Q19a	V16a	M03a	A17a
09:45	R20a	J04b, K01b K02b, K03b	N04a	Q20a	V17a	M04a	A18a
10:00	R21a	K04a	N05a	Q21a	V18a	M05a	A19a
10:15	R22a	K05a	N06a	Q22a	V19a	M06a	A20a
10:30	R23a	K06a	N07a	Q23a	V20b, V21b V22b, V23b	M07b, M08b M09b, M10b	A21a
10:45	R24b, R25b R26b, R27b	K07a	N08b, N09b N10b, N11b	Q24a	V24b, V25b V26b	M11b, M12b M13b, M14b	A22b
11:00	R28b			Q25a			
11:15		ポスター		Q26b, Q27b Q28b, Q29b	ポスター		
12:00	昼休み						
13:00	ポスター						
14:00	【銀河】	【宇宙論】	【恒星】	【星形成】	【地上観】	【太陽】	【銀河核】
14:00	R29a	U01a	N12a	P01a	V27a	M15a	S01a
14:15	R30a	U02a	N13a	P02a	V28a	M16a	S02a
14:30	R31a	U03a	N14a	P03a	V29a	M17a	S03a
14:45	R32a	U04a	N15a	P04b, P05b P06b, P07b	V30a	M18a	S04a
15:00	R33a	U05a	N16a	P08a	V31a	M19a	S05a
15:15	R34a	U06a	N17a	P09a	V32a	M20a	S06a
15:30	R35a	U07a	N18a	P10a	V33a	M21a	S07b, S08b S09b, S10b
15:45	R36a		N19b, N20b N21b	P11b, P12b P13b, P14b	V34b, V35b V36b, V37b	M22a	S11b, S12b
16:00	総会						
17:30	研究奨励賞受賞記念講演						
18:00							

口頭セッション

10月7日(土)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
	【銀河団】	【飛翔観】	【恒星】	【星形成】	【地上観】	【太陽】	【銀河核】
09:00	T01a	W01a	N22a	P15a	V38a	M23a	S13a
09:15	T02a	W02a	N23a	P16a	V39a	M24a	S14a
09:30	T03a	W03b,W04b W05b,W06b	N24a	P17a	V40a	M25a	S15a
09:45	T04a	W07b,W08b W09b,W10b	N25a	P18b, P19b P20b, P21b	V41a	M26a	S16a
10:00	T05a	W11b,W12b W13b,W14b	N26a	P22a	V42a	M27a	S17a
10:15	T06a	W15b,W16b W17b,W18b	N27b, N28b N29b, N30b	P23a	V43a	M28b,M29b M30b,M31b	S18a
10:30	T07b, T08b T09b, T10b	W19b,W20b W21b,W22b	N31b, N32b N33b, N34b	P24a	V44a		S19a
10:45	T11b, T12b T13b, T14b	W23b	N35b, N36b N37b	P25a	V45a		S20b, S21b S22b, S23b
11:00	ポスター			P26b, P27b P28b	V46a	V47b, V48b V49b, V50b	S24b
12:00				昼休み			
	【銀河団】	【飛翔観】	【恒星】	【星形成】		【太陽】	【銀河核】
13:00	T15a	W24a	N38a	P29a		M32a	S25a
13:15	T16a	W25a	N39a	P30a		M33a	S26a
13:30	T17a	W26a	N40a	P31a		M34a	S27a
13:45	T18a	W27a	N41a	P32a		M35a	S28a
14:00	T19a	W28a	N42a	P33a		M36a	S29a
14:15	T20a	W29a	N43a	P34a		M37a	
14:30		W30a	N44a	P35a		M38a	
14:45		W31a		P36a			
15:00	特別講演						
15:40	エクスカージョン						
16:00							

【突発天体・突発現象】

A04b, A05b, A11b, A12b, A13b, A14b
A22b

【銀河形成】

B11b, B12b, B13b, B14c, B15c

【位置天文学】

J04b

【天体力学】

K01b, K02b, K03b

【太陽系】

L09b, L10b, L11b, L12b, L13b, L14b,
L15b, L16b, L17b, L18c, L19c, L20c,
L21c

【太陽】

M07b, M08b, M09b, M10b, M11b, M12b,
M13b, M14b, M28b, M29b, M30b, M31b,
M39c

【恒星】

N08b, N09b, N10b, N11b, N19b, N20b,
N21b, N27b, N28b, N29b, N30b, N31b,
N32b, N33b, N34b, N35b, N36b, N37b,
N45c, N46c, N47c, N48c

【星形成】

P04b, P05b, P06b, P07b, P11b, P12b,
P13b, P14b, P18b, P19b, P20b, P21b,
P26b, P27b, P28b, P37c

【星間現象】

Q06b, Q07b, Q08b, Q09b, Q14b, Q15b,
Q16b, Q26b, Q27b, Q28b, Q29b, Q30c

【銀河】

R09b, R10b, R11b, R12b, R13b, R14b,
R15b, R16b, R24b, R25b, R26b, R27b,
R28b, R37c, R38c, R39c, R40c, R41c,
R42c

【活動銀河核】

S07b, S08b, S09b, S10b, S11b, S12b,
S20b, S21b, S22b, S23b, S24b, S30c,
S31c, S32c

【銀河団】

T07b, T08b, T09b, T10b, T11b, T12b,
T13b, T14b, T21c, T22c

【宇宙論】

U08c, U09c, U10c

【地上観測機器】

V10b, V11b, V12b, V13b, V20b, V21b,
V22b, V23b, V24b, V25b, V26b, V34b,
V35b, V36b, V37b, V47b, V48b, V49b,
V50b, V51c, V52c, V53c, V54c, V55c

【飛翔体観測機器】

W03b, W04b, W05b, W06b, W07b, W08b,
W09b, W10b, W11b, W12b, W13b, W14b,
W15b, W16b, W17b, W18b, W19b, W20b,
W21b, W22b, W23b

【情報処理】

X04b, X05b, X06b, X07b

【天文教育・その他】

Y03b, Y04b, Y05b, Y06b, Y07b, Y08c,
Y09c

A. 突発天体・突発現象 (G会場)

10/5(木)	10/6(金)
09:30 A01a 獅子座流星体の月面衝突による発光 柳澤正久、私市成美、農澤健太郎 (電通大)	09:00 A15a 世界の突発現象センター VSNET の10年 加藤太一、野上大作、馬場 肇、増田盛治、植村 誠 (京大理)、Chatief Kunjaya (ITB)、山岡 均 (九大理)
09:45 A02a Constraining the Location of Microlensing Objects by using Parallax measurment in EAGLE events 住 貴宏 (名大SIE研)、官谷幸利 (東大理)	09:15 A16a 高銀緯のX線新星 XTE J1118+480 の可視光観測 植村 誠、加藤太一、松本 桂、本川正美、山岡 均、野上大作、高見澤今朝男、長谷田勝美、佐野康夫、L. M. Cook, R. Novak, D. Buczynski, G. Masi, B. Martin, A. Oksanen, M. Moilanen, V. Simon, E. Leibowitz, Y. Lipkin (VSNET collaboration team)
10:00 A03a マイクロレンズ効果による偏光面の回転 吉田 宏 (福島医大物理)	09:30 A17a CI Aql の2000年新星爆発: 史上8例目の反復新星 松本 桂、植村 誠、加藤太一 (京大理)、清田誠一郎 (VSOLJ)、川端哲也、綾仁一哉 (美星天文台)、Lukas Kral (Czech Technical University)、Rudolf Novák (Nicholas Copernicus Observatory)、Gianluca Masi (CBA Italy)
10:15 A04b Source Size Measurement by Quasar Microlensing 米原厚憲 (京大理)	09:45 A18a SU UMa 型矮新星 HS 1449+6415 の発見 野上大作、B.T. Gänsicke、K. Reinsch (ゲッティンゲン大学附属観測所)、D. Engels (ハンブルグ大学附属観測所)、R. Novák (ニコラスコペルニクス観測所)、E.P. Pavlenko (クリミア天体物理観測所)
A05b 白鳥座 X-3 の巨大電波バースト直後のX線観測 北本俊二 (阪大理)、堂谷忠靖、上田佳宏 (宇宙研)、河合誠之 (理研)、「あすか」チーム	10:00 A19a 暗いIn型超新星 2000ch の増光前の姿 山岡 均 (九大理)
10:30 A06a Magnetar は本当にマグネターか? 村上敏夫 (宇宙研)、柴崎徳明 (立教大)	10:15 A20a 超新星爆発におけるr過程元素合成: 「コンパクト」な原始中性子星からのニュートリノ風 和南城伸也 (上智大理工)、梶野敏貴、大概かおり (国立天文台)、石丸友里 (東大天文)、Grant J. Mathews (Univ. of Notre Dame)
10:45 A07a カーブラックホール回転軸上でのニュートリノ対消滅 浅野勝晃 (阪大理)	10:30 A21a 超新星 1987A と星周リングの衝突によるX線放射のシミュレーション 前田啓一、中里直人、鈴木知治、野本憲一 (東大理)
11:00 A08a 高エネルギー粒子の放射源としての時空特異点 原田知広 (早大理工)、井口英雄 (阪大理)、中尾憲一 (大阪市大理)	10:45 A22b 新しい深い食のあるSU UMa型矮新星 IY UMa の発見 植村 誠、加藤太一、松本 桂、山岡 均、高見澤今朝雄、P. Schmeer, L. T. Jensen, T. Vanmunster, J. Pietz, T. Kinnunen, L. M. Cook, R. Novak, D. Buczynski, B. Martin, A. Oksanen, M. Moilanen, 渡辺 努、前原裕之、伊藤 博 (VSNET collaboration team)
11:15 A09a ASCA 衛星による X-ray afterglow の観測 米徳大輔、村上敏夫 (宇宙研)、吉田篤正、白崎裕治、河合誠之 (理化学研)、宇野伸一郎 (日本福祉大)、前田啓一 (東大)	
11:30 A10a ガンマ線バースト即時観測システム RIBOTS 浦田裕次、河合誠之、吉田篤正、根来均 (理研)、綾仁一哉、川端哲也 (美星天文台)、小坂浩三 (玉島高校)	
11:45 A11b HETE2 計画の進行状況 III 河合誠之、吉田篤正 (理研)、松岡 勝、白崎裕治 (宇宙開発事業団)、山内 誠、高岸邦夫、廿日出勇 (宮崎大工)、George R. Ricker (MIT) 他、HETE2 チーム	
A12b ぐんま天文台における γ 線バースト可視光対応天体捕捉システム 衣笠健三、河北秀世、大林均 (ぐんま天文台)、鳥居研一 (NASDA)、河合誠之 (理研)	
A13b すばる Suprime-Cam によるガンマ線バースト光学残光の単独探索 戸谷友則、小杉城治、小林尚人、高田唯史、水本好彦 (国立天文台)、浦田祐司、河合誠之、三原館人、吉田篤正 (理研)	
A14b ガンマ線バースト発生前後の光学対応天体の探索 山岡 均 (九大理)、高見澤今朝雄 (VSOLJ)、大西浩次 (長野高専)	

B. 銀河形成 (F 会場)

10/5(木)		10/5(木)			
09:30	B01a	銀河系の化学力学進化 小林千晶、中里直人、野本憲一 (東大理)	12:00	B11b	Superwind model of extended Ly α emitters at high-z 塩谷泰広、谷口義明 (東北大理)
09:45	B02a	銀河系誕生期の星形成史と重金属の起源 — 「弱 r 過程」は存在するか 石丸友里 (東大理)、和南城伸也 (上智大理工)		B12b	Early Type Galaxies in High Redshift Clusters under the Hierarchical Clustering Scenario 岡本 崇 (北大理)、長島雅裕 (国立天文台)
10:00	B03a	UV 背景放射下での水素分子冷却と星形成の可能性 北山 哲 (都立大理)、須佐 元、梅村雅之 (筑波大計算物理)、池内 了 (名大理)		B13b	z=4.0 銀河における星形成活動の非一様性 大内正己、嶋作一大 (東大理)
10:15	B04a	種族 III 星の初期質量関数について 中村文隆 (新潟大教育人間科学)、梅村雅之 (筑波大計算物理)		ポスターのみ	
10:30	B05a	SuperNova Triggered Star-Formation in Early Universe 町田正博 (北大理)		B14c	Metal Enrichment of Intergalactic Medium 村上 泉 (核融合研)、山下和之 (千葉大)
10:45	B06a	衝撃波圧縮層の不安定性と分裂条件 西 亮一、釜谷秀幸 (京大理)		B15c	遠紫外線背景輻射のもとでの始原星形成 大向一行 (国立天文台)
11:00	B07a	適合格子分割を用いた N 体計算による ダークハローの性質及び分布 矢作日出樹、吉井 讓 (東大理)			
11:15	B08a	階層的銀河形成モデルを用いた銀河計数の解析 長島雅裕、戸谷友則、郷田直輝 (国立天文台)、吉井 讓 (東大理)			
11:30	B09a	SUBARU IRCS Near-infrared Imagery of A Blue Compact Dwarf Galaxy with Extremely Low-metallicity: SBS0335-052 小林尚人、後藤美和、寺田 宏 (国立天文台ハワイ)、Alan T. Tokunaga (Institute for Astronomy, Univ. of Hawaii)、すばるチーム			
11:45	B10a	すばる望遠鏡による z=2.39 クラスタ天体の近赤外分光観測 本原顕太郎 (国立天文台ハワイ)、山田 亨 (国立天文台)、岩室史英、田口智之、秦 隆志、原島 隆、舞原俊憲 (京大理)、すばる望遠鏡チーム			

J. 位置天文学 (B会場)

<p>10/6(金) 09:00 J01a 経度原点の定義 福島登志夫 (国立天文台)</p> <p>09:15 J02a 星食解析から求めたヒッパルコス星表の固有運動システムの誤差 相馬 充 (国立天文台)</p> <p>09:30 J03a 年周視差による Cepheid の P-L 関係のゼロ点決定とバイアス 山田良透 (京大理)、郷田直輝、辻本拓司 (国立天文台)</p>	<p>10/6(金) 09:45 J04b 晩期型星の水酸基メーザとその近傍の連続波源との結合素子型干渉計による同時観測 朝木義晴 (宇宙研)、出口修至、今井裕、三好 真 (国立天文台)</p>
--	--

K. 天体力学 (B会場)

<p>10/6(金) 09:45 K01b 非剛体地球の数値的章動理論 白井俊道 (東大理)、福島登志夫 (国立天文台)</p> <p>K02b Long term integration error of KS regularized orbital motion II: Method of variation of parameter 荒木田英禎 (総研大)、福島登志夫 (国立天文台)</p> <p>K03b 記号力学でみた対称型 1 次元四体問題 関口昌由 (木更津高専)、谷川清隆 (国立天文台)</p> <p>10:00 K04a 直線自由落下四体問題における多重衝突軌道 谷川清隆、セツボミッコラ (国立天文台)</p>	<p>10/6(金) 10:15 K05a An Analytical Theory of Motion of Nereid Abdel-Naby S. Saad (総研大) and ○ Hiroshi Kinoshita (国立天文台)</p> <p>10:30 K06a 粒子サイズ分布を考慮した土星リングの N 体計算 台坂 博 (東工大地惑)</p> <p>10:45 K07a 火星探査機「のぞみ」の軌道決定 吉川 真、加藤隆二、市川 勉、山川宏、川口淳一郎 (宇宙研)、石橋史朗、大西隆史 (富士通)</p>
--	---

L. 太陽系 (C会場)

10/5(木)		10/5(木)	
09:30	L01a ダスト層の重力分裂による微惑星形成 古屋 泉、中川 義次 (神戸大)	L11b 小惑星 (201) Penelope の形状 林 悟、柳澤正久 (電通大)、長谷川 均 (アステック)、佐藤 勲 (渡辺技研)、 中島 崇、福島英雄 (国立天文台)	
09:45	L02a 原始惑星の寡占的成長と原始惑星系の多 様性 小久保英一郎 (国立天文台)、井田 茂 (東工大理)	L12b 太陽系天体サーベイ ~データベース時 代を向かえて~ 山本直孝、川端 潔 (東理大理)、木下 大輔 (総研大)、渡部潤一 (国立天文台)	
10:00	L03a 木星雲粒子の汎用散乱位相関数: 2. 縞領 域と吸収物質 佐藤毅彦 (東理大FRCCS)、川端 潔 (東理大理)、天間崇文 (NMSU)、赤 羽徳英 (京大飛騨天文台)	11:45 L13b すばる望遠鏡による小惑星の衛星捜し 柳澤正久、林 悟 (電通大)、佐藤 勲 (渡辺技研)、長谷川 直 (宇宙研)	
10:15	L04a Search for the Near-Sun Objects in the SOHO Coronagraphic Images: Limiting Detectable Size Dermawan, B. (東京大学理学部天文学)、 Nakamura, T. (国立天文台、三鷹)	L14b リニア彗星 (C/1999 S4) のモニター観測 室井恭子 (東京学芸大学)、中島 崇、 福島英雄、渡部潤一 (国立天文台)	
10:30	L05a 小惑星ミッション: MUSES-C 搭載用可 視多バンドカメラ (AMICA) の開発とサ イエンス 中村 士 (国立天文台)、D.Tholen (Univ. of Hawaii)、中村昭子 (神戸大)、 斎藤 潤 (西松建設)、佐々木 晶 (東大)、 中村良介 (NASDA-EORC)、出村裕英、 秋山演亮 (東大)、AMICA チーム	L15b Hale-Bopp 彗星 (C/1995 O1) の核から離 れたダストジェット状構造 田辺玲奈、室井恭子 (東京学芸大)、 Heike Rauer (DLR)、Catherine Delahodde、 Hermann Boehnhardt (ESO)、福島英雄、 渡部潤一 (国立天文台)	
10:45	L06a パターン認識の手法による小惑星検出法 の開発 板垣和幸、三浦則明 (北見工業大学)	L16b 過去 29 年間のふたご座流星群の活動 泉 潔 (群馬県立前橋西高)	
11:00	L07a IRTS/MIRS の中間赤外線観測による惑星 間ダストバンドの研究 大坪貴文、尾中 敬、石原大助 (東大 理)、山村一誠 (宇宙研)	12:00 L17b 日本における 1999 年しし座流星群の昼 間流星観測報告 芹澤寛隆、戸田雅之 (日本流星研究会)	
11:15	L08a 地上観測に基づく、惑星間塵の空間構造 の推定 吉下千秋、石黒正見、田口優介 (神戸 大自然)、中村良介 (宇宙開発事業団)、 向井 正 (神戸大自然)	ポスターのみ	
11:30	L09b 原始月円盤の進化に対する粘性加熱の効 果 武田隆顕、井田 茂 (東工大)	L18c 2000 年しし座流星群流星痕同時観測 キャンペーン (案内版) 戸田雅之 (日本流星研究会)、山本真 行 (東北大理)	
	L10b 観測者直下点および太陽直下点の近傍に おける惑星面偏光度の分布 川端 潔 (東京理科大学理)	L19c 微小ベルト小惑星のすばる望遠鏡サーベ イによるサイズ分布の見積り (2) 吉田二美 (神戸大自然/国立天文台)、 中村 士 (国立天文台)	
		L20c 73P/Schwassmann-Wachmann 3 関連流 星群の出現可能性 谷川智康 (兵庫県立尼崎高)	
		L21c 開状星団の解散と惑星形成 小林 浩、井田 茂 (東工大理)	

M. 太陽 (F 会場)

10/6(金)		10/6(金)	
09:00	M01a 「ようこう」衛星 硬 X 線望遠鏡 (HXT) を用いたかに星雲の硬 X 線撮像観測 杉保昌彦、松本 縁、牧島一夫 (東大理)、小杉健郎、坂尾太郎 (宇宙研)		M12b Sunspot Evolution and Its Relation with Flare Activity Level 石井貴子、黒河宏企 (京大理附属天文台)
09:15	M02a 非標準進化太陽モデルと日震学 渡辺 悟、柴橋博資 (東大理)		M13b Light Bridge with Surges Formed in the Active Region NOAA 8971 浅井 歩、石井貴子、黒河宏企 (京大理)
09:30	M03a 密度成層効果を考慮した 3 次元球殻対流シミュレーション 西川憲明、草野完也 (広島大先端)		M14b 1999 年 2 月 16 日に飛驒 FMT で観測された Moreton 波 高津裕通、柴田一成、森本太郎、磯部洋明、衛藤 茂 (京大花山天文台)、北井礼三郎 (京大飛驒天文台)、横山央明、下条圭美 (国立天文台野辺山)
09:45	M04a 太陽活動領域の helicity の緯度分布 萩野正興 (明星大情報)、桜井 隆 (国立天文台)		
10:00	M05a マグネトグラム観測に基づく活動領域磁場のエネルギーとヘリシティ 真栄城朝弘、草野完也 (広島大院先端)、横山央明、桜井 隆 (国立天文台)、陰山 聡 (核融合科学研)	14:00	M15a EIT wave と同時観測された Moreton wave について 衛藤 茂、磯部洋明、成影典之、森本太郎、浅井 歩、柴田一成、黒河宏企 (京大理)
10:15	M06a 1999 年 8 月 11 日の皆既日食におけるフラッシュスペクトルの偏光観測 米鷲和香子、高橋典嗣、平山 淳、鈴木大輔、山崎高幸 (明星大)、飯塚康至 (明星大 OB)	14:15	M16a カस्प型フレアの多波長観測 I. フィラメント噴出と EIT wave 森本太郎、磯部洋明、高津裕通、衛藤 茂、成影典之、柴田一成 (京大理)、横山央明、下条圭美 (国立天文台野辺山)
10:30	M07b 浮上磁場の 3 次元モデル: 対流の効果その 2 野澤 恵 (茨大理)、柴田一成 (京大花山天文台)	14:30	M17a カस्प型フレアの多波長観測 II. Decay Phase におけるリコネクションレートの導出 磯部洋明、森本太郎、高津裕通、衛藤 茂、成影典之、柴田一成 (京大理)、横山央明、下条圭美 (国立天文台野辺山)
	M08b 光球磁気リコネクションにおける対流の影響について 竹内彰継 (米子高専)	14:45	M18a Gamma Rays and Neutrons from the 1997 November 6 Flare M. Yoshimori, K. Suga, S. Nakayama, H. Takeda, H. Ogawa (Rikkyo University), G. H. Share, R. J. Murphy (NRL)
	M09b アルフベン波によって生成されるスピキュールの 2 次元モデル 斉藤卓弥 (東大理)、工藤哲洋 (国立天文台)、柴田一成 (京大理)	15:00	M19a Source Structures of A Microwave Burst with Slow Frequency Drift on November 28, 1998 Guangli Huang and Hiroshi Nakajima (Nobeyama Radio Observatory)
	M10b 光球面同一領域の飛驒・乗鞍偏光同時観測によるデータの比較検討 II 上野 悟、北井礼三郎、吉村圭司 (京大理)、篠田一也、一本 潔 (国立天文台)、山崎高幸 (明星大)	15:15	M20a フレアの磁気流体シミュレーション—熱伝導・彩層蒸発・放射冷却の効果 横山央明 (国立天文台)、柴田一成 (京大理)
10:45	M11b 磁束管浮上領域内の、H α 線像での、ある種の黒い模様の様子 吉村圭司、黒河宏企 (京大理附属天文台)		

10/6(金)	<p>15:30 M21a 強いフレア活動を起こした NOAA9026 領域の浮上磁束管構造について 黒河宏企、王同江、石井貴子、吉村圭司、高津裕通、森本太郎、浅井 歩、北井礼三郎、上野 悟、磯部洋明、柴田一成 (京大理院附属天文台)</p> <p>15:45 M22a プロミネンス上昇と粒子加速 柴崎清登 (国立天文台野辺山)</p>	10/7(土)	<p>13:00 M32a コロナ X 線強度の微小変動から得られるナノフレアのエネルギー分布 勝川行雄 (東大理)、常田佐久 (国立天文台)</p> <p>13:15 M33a コロナ加熱詳論と太陽風の質量流速の起源 平山 淳 (明星大情報)</p> <p>13:30 M34a 太陽からの質量放出とストリーマーの関係 堀 久仁子、Culhane, L. (Mullard Space Science Lab.)、国立天文台野辺山電波ヘリオグラフィチーム</p> <p>13:45 M35a Halo CME の成因について 秦 正樹、内田 豊 (東京理科大学)</p> <p>14:00 M36a An Emerging Flux Trigger Mechanism for Coronal Mass Ejections Chen, P. F. (南京大)、○柴田 一成 (京大理)</p> <p>14:15 M37a Magnetodynamic Driving of loop-type Coronal Mass Ejections R. Cameron (SUT)、Y. Uchida (SUT)、T. Miyagoshi (NAOJ) and S. Hirose (SUT)</p> <p>14:30 M38a CME ソースリージョンの構造・2000 年 2 月 26 - 27 日の CME 花岡庸一郎 (国立天文台)</p>
10/7(土)	<p>09:00 M23a 硬いスペクトルをもつ impulsive フレアにおける加速電子の振る舞い 中島 弘、横山央明、柴崎清登、下条圭美 (国立天文台野辺山)</p> <p>09:15 M24a フレアループ上空に存在する高温領域の時間及び空間変化について 秋山幸子 (総研大)、原 弘久 (国立天文台)</p> <p>09:30 M25a Post-Flare Loops of Transient Brightenings 下条圭美 (国立天文台)、黒河宏企、吉村圭司 (京大理)</p> <p>09:45 M26a 「ようこう」HXT によるループフレア初相の超高温 X 線源 羽賀良太郎、内田 豊 (東京理科大学)、M. Wheatland、D. Melrose (School of Physics, University of Sydney)、吉武 勲 (東京理科大学)</p> <p>10:00 M27a 天体における High β 領域から Low β 領域への電磁流体捻れ Alfvén 波の伝播 音川真徳、内田 豊 (東京理科大学)、D. Galloway (シドニー大学)、中村雅徳、廣瀬重信</p> <p>10:15 M28b 磁場浮上に伴い進化する活動領域コロナ 久保雅仁 (東大理)、清水敏文、常田佐久 (国立天文台)、B.W.Lites (NAO/NCAR)</p> <p>M29b フレアに伴うコロナ中ループ振動の 3 次元 MHD シミュレーション 宮腰剛広 (総研大)、横山央明 (国立天文台)、下条圭美 (国立天文台)</p> <p>M30b The Modeling of Solar Coronal Field associated with Flare-CMEs WANG Tongjiang, YAN Yihua, and WANG Jialong</p> <p>M31b 惑星間空間衝撃波による粒子加速 吉田龍生 (茨城大理)、田光江 (通総研平磯)、山下和之 (千葉大総情セ)</p>	<p>ポスターのみ</p> <p>M39c CME とコロナルホールは磁気座標系の定位置に発生する 斎藤尚生 (東北大 OB)</p>	

N. 恒星 (C会場)

10/6(金)		10/6(金)	
09:00	N01a	双極星雲 IRAS 19312+1950 からの SiO 及び H ₂ O メーザーの検出 中島淳一 (総研大/NRO)、出口修至 (国立天文台野辺山)	藤本光昭 (名大理)、佐藤文隆 (京大理)、大西浩次 (長野工業高専)、P. C. M. Yock, I. A. Bond, N. J. Rattenbury (オークランド大)、J. Hearnshaw, P. Kilmartin (カンタベリー大)、D. Sullivan, B. Carter (ビクトリア大)
09:15	N02a	早期 M 型超巨星における水蒸気存在 II. A Final Word Based on the Spectra from the ISO Archives 辻 隆 (東大理)	N11b J-Net による水メーザー源 — QSO ペアに対するアンテナ高速スイッチング相対 VLBI 観測 今井 裕、三好 真、宮地竹史 (国立天文台 VERA 推進室)、中島淳一 (総研大/NRO)、出口修至 (NRO)、朝木義晴 (宇宙研)、中島潤一、川合栄治 (通総研鹿島)
09:30	N03a	『NaD 線特異』炭素星 平井正則 (福岡教育大学地学)	
09:45	N04a	光学炭素星における星周層ガス起源の C ₂ スワンバンドの発見 泉浦秀行、小矢野久、柳澤顕史、岡田隆史、吉田道利、清水康広、渡辺悦二、乗本祐慈、浦口史寛、前原英夫 (国立天文台)、増田盛治 (京大理)、泉浦絵美 (岡山大理)	14:00 N12a オリオン・コンパクト電波源 # 12 が示す短時間強度変動 藤沢健太 (国立天文台)、GALAXY 実験チーム (天文台、通総研、NTT)
10:00	N05a	球状星団における恒星内部の物質混合による水平分枝の形状 須田拓馬、藤本正行 (北大理)	14:15 N13a RS Ophiuchi : Ia 超新星爆発直前の星か? 蜂巣 泉 (東大総合文化)、加藤万里子 (慶応大学)
10:15	N06a	金属欠乏星の Keck HIRES スペクトルの解析 (III) : アルファ過程元素の振る舞い 比田井昌英 (東海大文明研)、竹田洋一 (東大理)、佐藤 静 (東海大工)、W.L.W. Sargent, L. Lu, T.A. Barlow (Caltech)、寿岳 潤 (文明研)	14:30 N14a 極超新星 1998bw の光度曲線とスペクトル 中村敬喜 (東大理)、Mazzali P.A. (トリエステ天文台、東大ビッグバンセンター)、野本憲一 (東大理)、岩本弘一 (日大理工)
10:30	N07a	Metal-poor AGB star における s-プロセス元素の合成 岩本信之、梶野敏貴、G. J. Mathews、青木和光 (国立天文台)、藤本正行 (北大理)	14:45 N15a 種族 III 星の超新星爆発時における軽元素合成 吉田 敬、橋本正章、山岡 均 (九大理)
10:45	N08b	s-過程元素過剰な超金属欠乏星における鉛の検出 青木和光、安藤裕康 (国立天文台)、J. E. Norris (Australian National Univ.)、S. G. Ryan (Open Univ.)、T. C. Beers (Michigan State Univ.)	15:00 N16a 種族 III 大質量星の上限質量 白水麻里意、梅田秀之、野本憲一 (東大理)
	N09b	おうし座 RV 型星における 2:1 共鳴: 線形模型による検討 石田俊人 (兵庫県立西はりま天文台)	15:15 N17a 磁気圧駆動型 r-process 元素合成 長滝重博 (東大理)
	N10b	大マゼラン雲の変光星の研究 IV 野田祥代、村木 綏、阿部文雄、増田公明、松原 豊、さこ隆志、柳沢俊史、住 貴宏、野口周久、山田亮子、高見幸司 (名大 STE 研)、竹内 峯 (東北大理)、関口真木、本田守広 (東大宇宙線研)、河辺征次、小林 誠、中村卓史 (京大基研)、渡瀬芳行 (高工研)、宮本昌典、吉沢正則、本間希樹、官谷幸利 (国立天文台)、斎藤敏治 (都立航空高専)、寿岳 潤 (東海大文明研)、佐藤修二	15:30 N18a r-process in prompt explosion of supernova 住吉光介 (沼津高専)、寺澤真理子 (東大理/理研)、山田章一 (東大理)、鈴木英之 (東京理科大)、G. Mathews (Univ. Notre Dame)、梶野敏貴 (国立天文台)
			15:45 N19b 食連星 YY Eri の最近の公転周期変化 軽部智一、村山哲康、森田亜希子、筑井綾子、出口夏奈子、岡崎 彰 (群大教育)、永井和男、清田誠一郎 (VSOLJ)
			N20b アルゴル系 RZ Cas は roAp 型? δ Sct 型? それとも? 鳴沢真也 (西はりま天文台)、神戸栄治 (防衛大)、藤井 貢 (JAPOA)、定金晃三 (大阪教育大)、大島 修 (鴨方高校)
			N21b 近接連星 GR Tau の非対称光度曲線 黒田明子 (新潟県黒崎小学校)、水野孝雄 (東京学芸大)

10/7(土)		10/7(土)	
09:00	N22a	09:45	N25a
	高速で微分回転するポリトロープの r-mode の計算法の確立 鷹野重之 (東大総合文化)、吉田慎一郎 (SISSA)、江里口良治 (東大総合文化)		『あすか』によるX線連星ミリ秒パルサー SAX J1808.4-3658 の静穏時の観測 堂谷忠靖 (宇宙研)、浅井和美 (神奈 川大)、R. Wijnands (MIT)
09:15	N23a	10:00	N26a
	準平衡状態にある連星中性子星 — 同期 回転をしている連星系の進化 — 臼井文彦 (東大総合文化)、瓜生康史 (SISSA)、江里口良治 (東大総合文化)		SMC 内の X 線連星パルサー AX J0049- 732 の発見 植野 優、横川 淳、今西健介、小山勝 二 (京大理)
09:30	N24a	10:15	N27b
	パルサー磁気圏からの γ 線輻射: TeV ス ペクトル 広谷幸一 (国立天文台)		相対論的な星の慣性モーメントに与える 磁場の影響 金野幸吉、小島康史 (広島大理)
09:45	N25a		N28b
	『あすか』による X 線連星ミリ秒パルサー SAX J1808.4-3658 の静穏時の観測 堂谷忠靖 (宇宙研)、浅井和美 (神奈 川大)、R. Wijnands (MIT)		ヘリウムフラッシュモデルと最近の I 型 X 線バーストの観測 小池 修、黒水玲子、橋本正章 (九大理)、 荒井賢三 (熊大理)、藤本正行 (北大理)
10:00	N26a		N29b
	SMC 内の X 線連星パルサー AX J0049- 732 の発見 植野 優、横川 淳、今西健介、小山勝 二 (京大理)		SMC で新たに発見された3個のX線パルサー 横川 淳、植野 優、今西健介、辻本匡 弘、小山勝二 (京大理)、鳥居研一 (宇宙開発事業団)、幸村孝由 (阪大理)
10:15	N27b		N30b
	相対論的な星の慣性モーメントに与える 磁場の影響 金野幸吉、小島康史 (広島大理)		ASCA によるミリ秒パルサー PSR J1744-1134 および B1957+20 の観測 我妻良一、柴田晋平 (山形大理)、河 合誠之、根来 均、桜井郁也 (理研)、 斉藤芳隆 (宇宙研)、鳥居研一 (NASDA)、平山昌治 (UCSC)
	N28b		N31b
	ヘリウムフラッシュモデルと最近の I 型 X 線バーストの観測 小池 修、黒水玲子、橋本正章 (九大理)、 荒井賢三 (熊大理)、藤本正行 (北大理)		『あすか』衛星による未同定ガンマ線天 体 GEV 1837-0610 の観測 坂本貴紀、河合誠之 (理研)、R. Romani (Stanford Univ.)、岡 朋治 (東大理)
	N29b		N32b
	SMC で新たに発見された3個のX線パルサー 横川 淳、植野 優、今西健介、辻本匡 弘、小山勝二 (京大理)、鳥居研一 (宇宙開発事業団)、幸村孝由 (阪大理)		ホワイトノイズ解析を用いたブラックホ ール候補星の超短時間変動の性質につ いて 根来 均 (理研)、飛田武幸 (名城大)
	N30b		N33b
	ASCA によるミリ秒パルサー PSR J1744-1134 および B1957+20 の観測 我妻良一、柴田晋平 (山形大理)、河 合誠之、根来 均、桜井郁也 (理研)、 斉藤芳隆 (宇宙研)、鳥居研一 (NASDA)、平山昌治 (UCSC)		超大光度 X 線源のスリムディスクモデル 渡会兼也、嶺重 慎 (京大理)、水野恒 史 (広大理)
10:30	N31b		N34b
	『あすか』衛星による未同定ガンマ線天 体 GEV 1837-0610 の観測 坂本貴紀、河合誠之 (理研)、R. Romani (Stanford Univ.)、岡 朋治 (東大理)		ニュートリノ冷却をもつ降着流 松葉龍一、荒井賢三、藤本信一郎 (熊 大理)、橋本正章 (九大理)
	N32b		
	ホワイトノイズ解析を用いたブラックホ ール候補星の超短時間変動の性質につ いて 根来 均 (理研)、飛田武幸 (名城大)		
	N33b		
	超大光度 X 線源のスリムディスクモデル 渡会兼也、嶺重 慎 (京大理)、水野恒 史 (広大理)		
	N34b		
	ニュートリノ冷却をもつ降着流 松葉龍一、荒井賢三、藤本信一郎 (熊 大理)、橋本正章 (九大理)		
		10:45	N35b
			回転流体における分子粘性のモンテカル ロ計算 小山亜希子、藤原秀和、松田卓也 (神 戸大自然)
			N36b
			降着円盤内磁気乱流のカオス・モデル 中尾泰士 (奈良産大経営)
			N37b
			光学的に厚い移流優勢降着円盤における 元素合成 藤本信一郎、松葉龍一、荒井賢三 (熊 大理)、小池 修、橋本正章 (九大理)、 嶺重 慎 (京大理)
		13:00	N38a
			「あすか」による、強磁場激変星を用いた 共鳴散乱の検証 II 寺田幸功、牧島一夫 (東大理)、石田 学、藤本龍一、松崎恵一 (宇宙研)
		13:15	N39a
			近傍の渦巻き銀河に見られる大光度 X 線 源の正体 牧島一夫、久保田あや、古徳純一 (東 大理)、水野恒史 (広大理)
		13:30	N40a
			高速自転する中性子星と降着円盤の磁気 的相互作用の二次元数値実験 (2) 加藤成晃 (千葉大自然)、林 満 (国立 天文台)、松元亮治 (千葉大理)
		13:45	N41a
			降着円盤の大局的3次元散逸性MHD 数 値実験: X線強度の時間変化 町田真美 (千葉大自然)、中村賢仁 (JST)、嶺重 慎、川口俊宏 (京大理)、 松元亮治 (千葉大理)
		14:00	N42a
			宇宙ジェットのコリメーション: 磁気流体力 学の数値シミュレーションからのアプローチ 工藤哲洋 (国立天文台)、松元亮治 (千 葉大理)、柴田一成 (京大花山天文台)
		14:15	N43a
			『あすか』による SS 433 連星周期観測 並木雅章、河合誠之 (理研)、小谷太郎 (NASA/GSFC)
		14:30	N44a
			ASCA Observation of SS Cygni in an Outburst and a Quiescence Putra Mahasena, 石田学、井上一 (宇宙研)
		ポスターのみ	N45c
			回転中性子星における軸性振動の特徴と 放射反作用不安定性 小島康史 (広島大理)
			N46c
			SiO Maser Emitting AGB Stars in the North Galactic Cap 板 由房、中田好一 (東大理)
			N47c
			RV Tau 型星の固有偏光の特徴 吉岡一男 (放送大)、佐藤英男 (国立天 文台)、西城恵一 (国立科学博物館)
			N48c
			相似楕円体モデルに基づく表面斑点を取 り込んだ簡易版光度曲線合成法 中村泰久、田中亜樹、尾形由佳理 (福 島大教育)

P. 星形成 (D 会場)

10/6(金)	<p>14:00 P01a ケンタウルス座における巨大分子雲の CO 分子輝線観測 齋藤弘雄、松永健一郎、浅山信一郎、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)</p>	10/6(金)	<p>15:30 P10a Orion KL 領域の 2mm ダスト連続波の NMA/レインボー干渉計観測 百瀬宗武 (茨大理)、北村良実 (宇宙研)、横川創造 (総研大)、森野潤一、川辺良平 (国立天文台)</p>
14:15	<p>P02a 進化した巨大分子雲 NGC6357 からの X 線輻射 松崎恵一、小澤秀樹 (宇宙研)、関本裕太郎 (国立天文台野辺山)</p>	15:45	<p>P11b High-Resolution Imaging of the Shocked Outflow in the Orion-KL Region: Aperture Synthesis of HCO⁺ (J=1-0) Molecular Emission 齋藤智樹 (東大理)、川辺良平、百瀬宗武、阪本成一、鎌崎 剛</p>
14:30	<p>P03a η - Car 星雲における Triggered star formation 浅山信一郎、加藤滋郎、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)</p>	P12b	<p>RAINBOW による W49A の SO 観測 宮脇亮介 (福岡教育大学)、長谷川 哲夫 (東大理センター)、林 正彦 (国立天文台)</p>
14:45	<p>P04b BEARS による、S242 方向の ¹³CO 分子スペクトルマッピング 河村晶子 (東大理)、砂田和良 (国立天文台野辺山)、大西利和 (名大理)</p>	P13b	<p>NGC7538 領域のサブミリ波ダスト連続波のイメージング偏波観測 百瀬宗武 (茨大理)、田村元秀、亀谷 収、森野潤一 (国立天文台)、Greaves, J. (JAC)、Chrysostomou, A., Hough, J. H. (Hertfordshire 大)</p>
P05b	<p>近赤外一可視光撮像観測による、銀河面に埋もれた星団の観測 中屋秀彦 (国立天文台ハワイ)、渡辺 誠、長田哲也、佐藤修二 (名大理)</p>	P14b	<p>ASTRO-F / IRC による星形成~惑星形成に関する観測計画 上野宗孝 (東大総合文化)、村上 浩、北村良実 (宇宙研)、大坪貴文 (東大理)、中島 紀、田村元秀 (国立天文台)、他 ASTRO-F 星形成惑星形成 WG</p>
P06b	<p>おおかみ座星形成領域 Lupus3 における前主系列 4 重星系と高密度コア候補天体 中島 康 (名大理)、大朝由美子 (東大理)、伊藤洋一、田村元秀、すばる望遠鏡チーム (国立天文台)、CISCO チーム (京大理)</p>	10/7(土)	
P07b	<p>すばる+COMICS による ultracompact HII 領域の中間赤外線観測 (1) K3-50A, G45.12+0.13 岡本美子、片坐宏一 (東大理)、山下 卓也、宮田隆志、中村京子 (国立天文台)、酒向重行、田窪信也、本田充彦 (東大理)、すばる望遠鏡チーム</p>	09:00	<p>P15a 分子雲コアの重力収縮と分裂、分裂片の合体と生き残り 松本倫明 (法政大人間環境)、花輪知幸 (名大理)</p>
15:00	<p>P08a すばる望遠鏡 IRCS による NGC 2024 IRS 2 の高分散エシェル分光観測 後藤美和、小林尚人、寺田 宏 (国立天文台)、Alan Tokunaga (IfA/University of Hawaii)、すばるチーム</p>	09:15	<p>P16a 回転ガス円盤からの first core 形成と非軸対称進化 西合一矢、花輪知幸 (名大理)、松本倫明 (法政大)</p>
15:15	<p>P09a 野辺山ミリ波干渉計による高密度分子雲コアの詳細観測 小出直久、齋藤弘雄、森口義明、水野 亮、福井康雄 (名大理)</p>	09:30	<p>P17a Toomre-林 ガス円盤の軸対称なゆらぎへの安定性 花輪知幸、西合一矢 (名大理)、松本倫明 (法大人間環境)</p>
09:45		09:45	<p>P18b 磁気雲における自己重力不安定性の 3次元 MHD 数値実験 梅川通久 (千葉大理)</p>

10/7(土)	<p>P19b 原始星の SED と真の光度の関係について 中里 剛、中本泰史、菊地信弘 (筑波大物理)</p> <p>P20b 若い星の SED によるクラス分けは本当に進化を反映しているのか? 菊地信弘 (筑波大計算物理)</p> <p>P21b A Shock Heating Model for Chondrule Formation 飯田 彰 (筑波大計算物理/神戸大自然)、中本 泰史、須佐 元 (筑波大計算物理)、中川 義次 (神戸大理)</p>	10/7(土)	<p>P29a 星形成を伴う分子雲のエネルギー収支と寿命 中野武宣 (京大理:非常勤)、長谷川 哲夫 (東大理天文センター)</p> <p>P30a 分子雲コアの質量分布関数の理論 犬塚修一郎 (国立天文台)</p> <p>P31a へびつかい座北部領域の H¹³CO⁺ 高密度分子雲コアサーベイ 山本宏昭 (名大理)、立原研悟 (MPE)、浅山信一郎、松永健一、齋藤弘雄、早川貴敬 (名大理)、河村晶子 (東大理)、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)</p>
10:00	<p>P22a ASCA による R CrA 星形成領域の長期 X 線時間変動モニター 濱口健二、小山勝二 (京大理)</p>	13:45	<p>P32a おうし座における高密度分子ガス塊の進化2 大西利和、浅山信一郎 (名大理)、河村晶子 (東大理)、水野 亮、福井康雄 (名大理)</p>
10:15	<p>P23a Chandra 衛星による RhoOph 星形成領域の X 線観測 今西健介、濱口健二、小山勝二 (京大理)、坪井陽子 (ペンシルバニア州立大)</p>	14:00	<p>P33a 星形成コアにおける分子組成分布: 重力収縮の時間スケールを探る 相川祐理 (神戸大学理)、大橋永芳 (Academia Sinica)、犬塚修一郎 (国立天文台)、Eric Herbst (Ohio State Univ.)、高桑繁久 (Academia Sinica)</p>
10:30	<p>P24a ブライトリム分子雲で見つかった小さなハービッグ・ハロー天体 小倉勝男 (国学院大学)、杉谷光司 (名古屋市立大学)</p>	14:15	<p>P34a An NMA Survey for Dynamical Infalling Envelope in Nearby Star Forming Regions 平野尚美 (総研大)、土橋一仁 (学芸大)、大橋永芳、新永浩子 (ASIAA)、林 正彦 (国立天文台ハワイ)</p>
10:45	<p>P25a CH₃OH 輝線による、原始星 IRAM 04191+1522 からのアウトフローと分子雲コアの相互作用領域の発見 高桑繁久、大橋永芳 (ASIAA)、平野尚美 (国立天文台)、百瀬宗武 (茨城大学)、前澤裕之 (東京大学)</p>	14:30	<p>P35a Haro6-5B 星周ダスト円盤の高分解能ミリ波連続波観測 横川創造 (総研大)、北村良実、百瀬宗武、川辺良平</p>
11:00	<p>P26b HH83 ジェット中の特異な H₂ knots 仲野 誠 (大分大教育)、杉谷光司 (名古屋市大自然セ)、小倉勝男 (國學院大)</p>	14:45	<p>P36a ダスト円盤のリング状構造は惑星形成の証拠となりうるか? 竹内 拓、Pawel Artymowicz (ストックホルム天文台)</p>
	<p>P27b LkHα 234 星形成領域における水メーザー源の VLBI 観測 梅本智文 (国立天文台)、今井 裕 (国立天文台水沢)、斉藤正雄 (CfA)、北村良実 (宇宙研)、川辺良平 (国立天文台野辺山)</p>		<p>.....</p> <p>ポスターのみ</p>
	<p>P28b BEARS による H¹³CO⁺ コアのサイズ-線幅関係の観測的研究 米倉覚則、岸 幸正、小川英夫 (大阪府大総合科学)、砂田和良 (NRO)</p>		<p>P37c S255 領域にみる大質量星の形成と進化 伊藤洋一、田村元秀、周藤浩士、林左絵子 (国立天文台)、大朝由美子 (東大理)、村川幸史 (ハートフォードシャー大)、中島 康 (名大理)</p>

Q. 星間現象 (D会場)

10/5(木)		10/5(木)	
09:30	<p>Q01a 「なんてん」による小マゼラン銀河の¹²CO スペクトル観測 水野範和、山口玲子、大西利和、水野亮、福井康雄 (名大理)、Monica Rubio (チリ大学)、米倉覚則 (大阪府大)</p>	11:30	<p>Q12a Chandra 衛星による X 線反射星雲 Sgr B2 の高空間分解観測 村上弘志、辻本匡弘、千田篤史、小山勝二 (京大理)、前田良知 (Penn State 大)、坂野正明 (NASDA)</p>
09:45	<p>Q02a 近傍系外銀河の星間物理状態 根岸武利、尾中 敬 (東大理)</p>	11:45	<p>Q13a BEARS によるいて座 B2 衝突分子雲の C¹⁸O / HNC O イメージング 佐藤文男 (東京学芸大)、長谷川哲夫 (東大理)、J. B. Whiteoak (ATNF)、神鳥 亮 (東京学芸大)</p>
10:00	<p>Q03a ¹³CO J=2-1 輝線による銀河面サーベイ 澤田剛士、半田利弘、長谷川哲夫、山本文雄 (東大理)、森野潤一、阪本成一 (NRO)、T. Dame (CfA)</p>	12:00	<p>Q14b Dissociative Recombination of H₃⁺.I 田代基慶 (京大物理)、山本武志、加藤重樹 (京大化学)</p>
10:15	<p>Q04a 銀経 30 度方向の、CO J=1-0, 2-1, 3-2 輝線観測 長谷川哲夫、山本文雄、澤田剛士、半田利弘 (東大理天文センター)、池田正史、山本 智 (東大理物理)、T. M. Dame (CfA)</p>		<p>Q15b 富士山頂サブミリ波望遠鏡による近傍分子雲の [C I] 輝線観測 岡 朋治 (東大理)、他富士山頂サブミリ波望遠鏡グループ</p>
10:30	<p>Q05a 「なんてん」によるケンタウルス座領域の分子雲サーベイ：ホール状構造 松永健一、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)</p>		<p>Q16b SgrB2 分子雲における H₂CO 輝線の観測 池田美穂、大石雅寿 (国立天文台)</p>
10:45	<p>Q06b SSPSF による kpc スケールの星形成活動進化モデル 野村英子、釜谷秀幸 (京大理)</p>	10/6(金)	
	<p>Q07b 星間ガスの二相構造について 小山 洋 (国立天文台/東大理)、犬塚修一郎 (国立天文台)</p>	09:00	<p>Q17a X 線衛星「あすか」による超新星残骸 G0.56-0.01 の発見 千田篤史、村上弘志、河野 誠、小山勝二 (京大理)、坂野正明 (NASDA)、前田良知 (Pennsylvania 州立大)</p>
	<p>Q08b 化学反応ネットワーク流体力学数値シミュレーションによる分子雲化学進化の研究 上原英也 (国立天文台)</p>	09:15	<p>Q18a 北天の系内超新星残骸に対する ¹²CO (J=2-1) 輝線による無作為広域サーベイ 山本文雄、長谷川哲夫、澤田剛士、半田利弘 (東大理)</p>
	<p>Q09b HI-H₂ トランジション領域における分子雲の微細構造 澤田剛士、長谷川哲夫 (東大理)、森野潤一 (NRO)</p>	09:30	<p>Q19a 「なんてん」による系内 SNR の ¹²CO (J=1-0) 観測: Puppis A, RCW86 森口義明、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)</p>
11:00	<p>Q10a 「なんてん」によるオリオン座 λ 星領域の CO (J=1-0) 観測 青山紘子、水野範和、浅山信一郎、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)</p>	09:45	<p>Q20a BEARS による Taurus-Auriga の ¹³CO (1-0) 観測 森野潤一、砂田和良、宮崎敦史 (国立天文台野辺山)、北村良実 (宇宙研)、犬塚修一郎 (国立天文台理論)</p>
11:15	<p>Q11a 「なんてん」によるおおいぬ座領域分子雲の ¹²CO 観測 岸 幸正、米倉覚則、小川英夫 (大阪府大総合科学)、福井康雄 (名大理)</p>	10:00	<p>Q21a 暗黒星雲コア L1521E における分子輝線観測 広田朋也 (鹿児島大理)、山本 智 (東大理)</p>

10/6(金)		
10:15	Q22a Constraints on the Identification of the 22 μm Emission Feature Kin-Wing Chan, Takashi Onaka (東大院理)、and Thomas L. Roellig (NASA ARC)	ポスターのみ Q30c 「なんてん」望遠鏡による銀河面 CO サーベイ 水野 亮、浅山信一郎、松永健一、阿部理平、斉藤弘雄、山口玲子、森口義明、青山紘子、吉川奈緒、早川貴敬、原 淳、水野範和、小出直久、豊田秋一郎、山本宏昭、大西利和、福井康雄(名大)、米倉覚則、小川英夫(大阪府立大)、河村晶子、山口伸行(国立天文台野辺山)
10:30	Q23a Fe/Mg 組成比による結晶質オリヴィンのスペクトルの変化 小池千代枝(京都薬大)、茅原弘毅、土山 明(阪大理)、寒川尚人(京都薬大)、周藤浩士(国立天文台ハワイ)	
10:45	Q24a The Optical Constant of the High-temperature Condensation Species: Crystalline Spinel (MgAl_2O_4) 茅原弘毅(阪大理)、小池千代枝、寒川尚人(京都薬大)、土山 明(阪大理)	
11:00	Q25a Anomaly of Narrow Emission Line in Heavily Disturbed Low Ionized Gas. 釜谷秀幸(京大理)	
11:15	Q26b H II 領域の衝撃波に包まれた分子雲の力学的進化 福田尚也、花輪知幸(名大理)	
	Q27b MgS グレインの形態と赤外スペクトルの相関 木村誠二、堀内千尋(立命館大理工)、小池千代枝(京都薬科大)	
	Q28b コンパクト HII 領域 W51IRS2 の近赤外分光観測 奥村真一郎、山下卓也、渡辺悦二(国立天文台)、森 淳(東大理)、西原英治(ぐんま天文台)	
	Q29b OASIS による Young Stellar Objects の近赤外分光観測 石井未来、加藤大輔、長田哲也、佐藤修二(名大理)、姚永強(紫金山天文台)	

R. 銀河 (A 会場)

10/5(木)		10/5(木)				
09:30	R01a	クエーサーの重力位置揺らぎと MACHO ハロー分布 大西浩次 (長野高専)、細川瑞彦 (通信総研)、福島登志夫 (国立天文台)	R12b	Synthesis Imaging of Dense Gas in the Central Region of the starburst galaxy NGC 3628 芝塚要公 (東大理)、松下聡樹 (CfA)、河野孝太郎、川辺良平 (国立天文台野辺山)		
09:45	R02a	Global Structure of the Stellar Halo prior to Disk Formation 千葉柁司 (国立天文台)	11:45	R13b	野辺山ミリ波干渉計と 45m 鏡による 1 型 Seyfert 銀河 NGC1097 の HCN/CO 輝線観測 河野孝太郎、川辺良平、石附澄夫 (国立天文台野辺山)	
10:00	R03a	HIPPARCOS 衛星による太陽近傍星の年齢-金属量関係 伊吹山秋彦、有本信雄 (東大理)		R14b	渦状銀河の表面測光と力学モデル 赤坂達生、岡根行孝*、横尾武夫 (大阪教育大学、*宇治市総合野外活動センター)	
10:15	R04a	Detection of outer Galactic rotation through phase-referencing VLBI astrometry of water masers 蜂須賀一也 (総研大)、VERA Project Team (国立天文台)		R15b	Jバンドでのバルジとディスクの質量光度比と年齢 吉野 彰、市川 隆 (東北大理)	
10:30	R05a	銀河中心領域の X 線大局構造 (IV) - 星生成活動史 坂野正明 (NASDA)、小山勝二、村上弘志 (京大物理)、前田良知 (Pennsylvania 州立大)、山内茂雄 (岩手大)、「あすか」銀河面銀河中心サーベイチーム		R16b	非対称性と中心集中度を用いた近傍銀河の定量分類 中村佳博、○土居 守、嶋作一大、岡村定矩 (東大理)、八木雅文 (国立天文台)	
10:45	R06a	「あすか」による M31 の観測 高橋弘充、岡田 祐、牧島一夫 (東大理)、満田和久 (宇宙研)	10/6(金)	09:00	R17a	銀河系星形成史の非線形開放系モデルによる解釈 平下博之 (京大理)、Andreas Burkert (MPIA)、竹内 努 (名大理)
11:00	R07a	近傍銀河 M31 における X 線点源の「あすか」による解析 岡田 祐、高橋弘充、牧島一夫 (東大理)、満田和久 (宇宙研)	09:15	R18a	BCD 銀河のコンパクトな星形成活動領域の維持機構 田尻愉香、釜谷秀幸 (京大理)	
11:15	R08a	「あすか」による NGC7252 の観測 粟木久光 (愛媛大理)、松本浩典 (MIT)、富田 洋 (NASDA)	09:30	R19a	銀河の星形成率評価処方へのダスト減光補正の重要性 井上昭雄、平下博之、釜谷秀幸 (京大理)	
11:30	R09b	ミリ波における Sagittarius A* のフレア II 宮崎教史 (国立天文台野辺山)、堤 貴弘 (CfA)、坪井昌人 (茨城大理)	09:45	R20a	Evolution of dusty starburst galaxies. V. Ultraluminous IR Galaxies 塩谷泰広 (東北大理)、戸次賢治 (国立天文台)	
	R10b	VERA 用参照電波源探査 II 小山友明 (東大理)、本間希樹、笹尾哲夫 (国立天文台)、電波源サーベイチーム (国立天文台、通総研鹿島、鹿児島大、九州東海大)	10:00	R21a	矮小銀河の進化における環境効果 森 正夫 (筑波大計算物理)	
	R11b	Molecular Clouds in Arm and Interarm Regions of Flocculent galaxy NGC5055 瀧崎智佳 (県立ぐんま天文台)、塩谷康広 (東北大理)、久野成夫、中西康一郎 (NRO)、長谷川 隆、中道晶香、河北秀世 (県立ぐんま天文台)	10:15	R22a	Scaling of the Distribution Function under the Vlasov-Poisson Equations and the Critical Exponents near the Point of a Marginal Stability Alexei Ivanov (National Institute for Fusion Science)	
			10:30	R23a	熱不安定性が銀河風の構造に与える影響の上限 藤田 裕 (国立天文台)	

10/6(金)	10:45 R24b 棒状構造と銀河 warps は共存できるか？ 出田 誠 (京大理)、穂積俊輔 (滋賀大教育)	10/6(金)	15:00 R33a ISO サーベイ IV: 遠赤外線源カウントと銀河進化 —60 億年前のスターバースト銀河の爆発的発生— 奥田治之 (ぐんま天文台)、川良公明、祖父江義明 (東大理)、松原英雄、松本敏雄 (宇宙研) 谷口義明、佐藤康則 (東北大)、若松謙一 (岐阜大)、竹内努 (名大)、石井貴子、平下博之、吉川耕司 (京大理)、L. L. Cowie, R. D. Joseph, D.B.Sanders (ハワイ大)
	R25b 銀河団環境下における渦状銀河の星形成領域収縮シナリオ 田尻愉香、釜谷秀幸 (京大理)		
	R26b 早期型銀河のポテンシャル構造と星形成史 児玉忠恭 (東京大)、松下恭子 (MPE)		
	R27b Dark Halo の merging process による DLA の起源と進化 大越克也、長島雅裕、郷田直輝 (国立天文台)、吉岡 諭 (東京商船大)		15:15 R34a ISO サーベイ V: ISO 遠赤外線源候補天体の可視分光観測 村山 卓、谷口義明 (東北大)、D.B.Sanders (ハワイ大)、S. Veilleux (メリーランド大)、大藪進喜、川良公明 (東京大)、佐藤康則、松原英雄、奥田治之 (宇宙研)
	11:00 R28b Prospects of Submillimeter and Millimeter Galaxy Surveys for the Study of Galaxy Formation and Evolution 竹内 努 (名大理素粒子宇宙物理)、川邊良平、河野孝太郎、中西康一郎 (国立天文台野辺山)、石井貴子 (京大理附属花山天文台)、平下博之、吉川耕司 (京大理宇宙物理)		15:30 R35a ISO サーベイ VI: 赤方偏移 1 を越えるハイパー赤外線銀河の発見 谷口義明、村山 卓 (東北大)、D.B.Sanders (ハワイ大)、S. Veilleux (メリーランド大)、M. S. Yun (NRAO)、大藪進喜、川良公明、祖父江義明 (東大理)、若松謙一 (岐阜大)、佐藤康則、松原英雄、奥田治之 (宇宙研)
	14:00 R29a 3 - 4 μm スペクトルに基付く超高光度赤外線銀河のエネルギー源の診断 今西昌俊 (国立天文台、IfA)、C. C. Dudley (Naval Research Laboratory)		15:45 R36a 赤方偏移率 - 後退速度関係の再検討 (その 3 空間膨張宇宙における赤方偏移率) 阿武靖彦 (一)
	14:15 R30a ISO サーベイ I: ISO 中間赤外線源のカウント 佐藤康則 (宇宙研)、谷口義明 (東北大)、川良公明 (東大理)、奥田治之 (ぐんま天文台)、若松謙一 (岐阜大)、松本敏雄 (宇宙研)、祖父江義明 (東大理)、松原英雄 (宇宙研) L. L. Cowie, D.B.Sanders, R.D.Joseph (ハワイ大学)		ポスターのみ R37c HI survey data による銀河系の 3 次元的構造の決定 中西裕之、祖父江義明 (東大理) R38c VLBI Structure of Sgr A* at 86 GHz Zhi-Qiang Shen (NAO/ISAS) et al.
	14:30 R31a ISO サーベイ II: ISO 遠赤外線源のカウント (ロックマンホール) 川良公明、祖父江義明 (東大理)、谷口義明 (東北大)、佐藤康則、松原英雄、奥田治之、松本敏雄 (宇宙研)、若松謙一 (岐阜大)、Sanders, Cowie, Joseph (ハワイ大)		R39c CO Observation of the Virgo Spiral Galaxy NGC 4254 Makoto Hidaka, Yoshiaki Sofue, Jin Koda, Tsutomu Takamiya, Hiroyuki Nakanishi (IOA, UT)、Yoshinori Tutui (NHK)、Mareki Honma (NAOJ)
	14:45 R32a ISO サーベイ III: 遠赤外線輝度の揺らぎと遠赤外線源の分布 松原英雄 (宇宙研)、川良公明 (東大理天文センター)、谷口義明 (東北大)、佐藤康則、奥田治之、松本敏雄 (宇宙研)、祖父江義明 (東大理天文センター)、若松謙一 (岐阜大)、L.L. Cowie, R.D. Joseph, D.B. Sanders (UH)		R40c 楕円銀河における外的影響を示すディスク水野孝雄、中村将行、小山田剛、岡田友信 (東京学芸大) R41c Wide and Long Slit を用いた Hubble Deep Field の分光観測 傳田紀代美 (国立天文台) R42c 銀河団内の衝突銀河の形状について 田川英幸、金光 理 (福岡教育大)

S. 活動銀河核 (G 会場)

10/6(金)		10/6(金)				
14:00	S01a	スターバースト銀河 M82 における巨大 BH の形成過程の発見 松下聡樹 (CfA)、川辺良平 (国立天文台野辺山)、松本浩典 (MIT)、○鶴剛 (京大物理)	15:45	S11b	スペース VLBI による南天 EGRET-AGN の高分解能観測 輪島清昭 (宇宙研)、James E.J. Lovell (ATNF)、小林秀行、藤沢健太 (国立天文台)、平林久 (宇宙研)、坪井昌人 (茨城大理)	
14:15	S02a	すばる望遠鏡によるスターバースト銀河 M82 の近赤外分光観測 原島隆、岩室史英 (京大理)、寺田宏、本原顕太郎 (国立天文台ハワイ)、舞原俊憲、鶴剛 (京大理)、松本浩典 (MIT)、すばる望遠鏡チーム		S12b	A Probe of Distant matter with X-rays — ASCA Observation of the z=4.3 Quasar RXJ1028.6-0844 W. Yuan, M. Matsuoka, S. Ueno (NASDA), H. Kubo (TIT), T. Mihara (RIKEN)	
14:30	S03a	M51 の隠れた AGN からの X 線放射の検出 深沢泰司 (広大理)、伊予本直子 (ISAS)、久保田あや、松本縁、牧島一夫 (東大理)				
14:45	S04a	NGC 3079 の X 線観測 伊予本直子 (宇宙研)、深沢泰司 (広島大学)、石原裕子 (東京大学、天文台野辺山)、中井直正 (天文台野辺山)、牧島一夫 (東京大学)		10/7(土)		
15:00	S05a	すばる高解像度イメージによる NGC4151 中心核周辺の中性ガス分布 大谷浩、服部堯 (京大理)、宮崎聡、家正則 (国立天文台)、小宮山裕 (東大理)、佐々木敏由紀、小杉城治 (国立天文台ハワイ)		09:00	S13a	セイファート銀河 NGC 1052 の中心に半径 0.6 pc のプラズマ円盤 亀野誠二、澤田-佐藤聡子、柴田克典、井上允 (国立天文台)、輪島清昭 (宇宙研)
15:15	S06a	Where is the [O III] λ 4363 Emitting Region in AGNs? 長尾透、村山卓、谷口義明 (東北大理)		09:15	S14a	「あすか」による電波銀河 Centaurus A の北側アウトロープの観測 磯部直樹 (東大理)、田代信 (埼大理)、牧島一夫 (東大理)、金田英宏 (宇宙研)
15:30	S07b	The Narrow-Line Region of Seyfert Galaxies: NLS1 vs. BLS1 長尾透、村山卓、谷口義明 (東北大理)		09:30	S15a	「あすか」による電波ロープの中の粒子・磁場のエネルギー分布の観測 田代信、牧島一夫、磯部直樹 (東大理)、金田英宏 (宇宙研)
	S08b	すばる望遠鏡を用いた NGC 1068 中心核の中間赤外線撮像観測 友野大悟、土井由行、西村徹郎 (国立天文台ハワイ)		09:45	S16a	GPS 天体におけるスペクトルピークの前後での偏波角の変化について 武藤陸美、浅田圭一 (東理大理)、井上允、亀野誠二、藤沢健太 (国立天文台)
	S09b	活動銀河核水メーザーにおける新速度成分の検出 石原裕子 (東大理)、中井直正 (国立天文台野辺山)、佐藤奈穂子 (北大理)		10:00	S17a	3C 380 の VSOP による偏波観測の結果 浅田圭一 (東京理科大学)、亀野誠二、井上允、藤沢健太 (国立天文台)、沈志強、輪島清昭 (宇宙研)
	S10b	「あすか」の観測でえられた「MCG-6-30-15」の鉄輝線の特徴 松本千穂、井上一 (宇宙研)		10:15	S18a	Correlation between luminosity and physical condition in AGN 幅良統、古澤彰浩、山下廣順 (名大理)、見崎一民、國枝秀世 (宇宙研)
				10:30	S19a	Seyfert 1 型銀河 NGC3516 の鉄輝線の時間変動の遅れ 野上杏子、三原建弘、根来均 (理研)、H.Netzer (Tel Aviv Univ.)

10/7(土)		ポスターのみ	
10:45	S20b	大局磁場中降着流モデルの各種銀河核への適用 II 山崎尚宏、鎗木 修 (東北大理)、 紀 基樹 (東北大理/大阪大理)	S30c 狭輝線セイファートI型銀河の相対論的降着流モデル 萬本忠宏 (千葉大理)、嶺重 慎 (京大理)
	S21b	輻射圧で加速された相対論的降着円盤風 II 牧井康雄、福江 純 (大阪教育大教育)、 渡会兼也 (京大理)、田島由紀子 (イーハトーブ)	S31c 「あすか」による超大光度赤外線銀河 (ULIRG) のX線観測 II 米徳大輔、穴吹直久、中川貴雄、藤本龍一 (宇宙研)
	S22b	活動銀河核X線スペクトルへの各半径からの寄与 川口俊宏 (京大理)、志村俊也 (横浜国立大)、嶺重 慎 (京大理)	S32c The VSOP Survey and its statistical results 堀内真司 (国立天文台)、J. Lovell (ATNF)、G. Moellenbrock、E. Fomalont (NRAO)、Z. Shen、輪島清明、P. Edwards、村田泰宏、平林 久 (宇宙研)、小林秀行、井上 允 (国立天文台)、他 VSOP Survey Working Group
	S23b	X-ray Microlensing of Corona Disk Model 高橋芳太、川口俊宏、米原厚憲、嶺重 慎 (京大理)	
11:00	S24b	Relativistic Outflow of Wien Equilibrium Pair Plasma 岩本静男、高原文郎 (阪大理)	
13:00	S25a	多重像をもつブレーザー PKS1830-211 のX線観測—マイクロレンズによる新しい解釈— 大島 泰、満田和久、太田直美 (宇宙研)、米原厚憲 (京大理)、関本裕太郎 (天文台)、服部 誠 (東北大)	
13:15	S26a	Evidence of a Characteristic Time-Scale in the X-ray Light Curves of TeV Blazars 片岡 淳 (京大理)、P.G.Edwards (宇宙研)、S.J.Wagner (Heidelberg 天文台)、井上 進 (国立天文台)、G.M.Madejski (NASA/GSFC)、高原文郎 (阪大理)、高橋忠幸、谷畑千春 (宇宙研)	
13:30	S27a	「あすか」による超大光度赤外線銀河 (ULIRG) のX線観測 穴吹直久 (東大理)、米徳大輔 (東工大理工)、中川貴雄、藤本龍一 (宇宙研)	
13:45	S28a	Starburst 輻射による Obscuring Wall 形成 ; Implications for Starburst-AGN Type Connection 大須賀 健 (筑波大物理)、梅村雅之 (筑波大計算物理)	
14:00	S29a	大局磁場中の搬送主体型降着流におけるスケールリング則 鎗木 修 (東北大理)	

T. 銀河団 (A会場)

10/7(土)		10/7(土)			
09:00	T01a	銀河団の進化と銀河団内宇宙線による γ 線 椿 信也 (東大理)、北山 哲 (都立大 理)、佐藤勝彦 (東大理)	T12b	おとめ座銀河団の矮小銀河の測光学的性質 沢田保宏 (ニコン)、岡村定矩、土居 守、 ○嶋作一大 (東大理)、関口真木 (東大 宇宙線研)、柏川伸成、八木雅文 (国立 天文台)、小宮山 裕 (ハワイ観測所)、 モザイク CCD グループ	
09:15	T02a	多重散乱を考慮した相対論的 Sunyaev- Zel'dovich 効果 川名洋平、伊藤直紀 (上智大理工)、 野澤 智 (城西女子短大)、神山泰治 (富士総研)	T13b	かみのけ座銀河団の矮小銀河：形状・ 色・金属量の半径依存性 II 小宮山 裕 (国立天文台)、岡村定矩 (東大天文)、八木雅文 (国立天文台)、 B.Mobasher (Imperial College)、D.Carter (LJMU)、他 Mosaic CCD Group	
09:30	T03a	銀河団のアセンブリーと大局的星形成史 児玉忠恭 (東京大)、Richard Bower (Univ of Durham)	T14b	かみのけ座銀河団の質量・光度比とフィー ルド銀河の光度密度に基づく密度パラメ ータの測定 勝野由夏 (東北大理)、嶋作 一大 (東 大理)、田口 弘子 (東京学芸大教)	
09:45	T04a	銀河団とその Brightest cluster member の統計的研究 隈井泰樹 (熊本学園大)、佐藤神司、 田原 譲、秋元文江、古澤彰浩 (名大理)、 渡辺 学 (宇宙研)、太田泰史 (熊大理)	13:00	T15a	A3158 の銀河団ガスの温度分布 太田泰史 (熊本大理)、隈井泰樹 (熊本 学園大)、荒井賢三 (熊本大理)、白鳥 裕 (九州東海大)、渡辺 学 (宇宙研)、 古澤彰浩、秋元文江、佐藤神司、田原 譲、山下広順 (名大理)、三好 蕃 (京 産大)、A. Mazure (CNRS,LAS France)
10:00	T05a	銀河団におけるコモンハローの成長： Fokker-Planck モデル 高橋広治、泉水朋寛 (東大理)	13:15	T16a	A3558 の温度・重元素分布とマージング プロセス 近藤和雅、古澤彰浩、秋元文江、山下 広順、田原 譲 (名大理)
10:15	T06a	形成時期を考慮した X 線銀河団の温度・ 光度函数 榎 基宏 (阪大理)、藤田 裕 (国立天 文台)、高原文郎 (阪大理)	13:30	T17a	銀河団ダストのスペクトル進化 高木俊暢 (立教大理)、有本信雄 (東 大理)、花見仁史 (岩手大人文)
10:30	T07b	3次元パラメータ空間における銀河団の 進化と X 線基準面 杉之原立史 (東大理)、藤田 裕 (国立 天文台)、高原文郎 (阪大理)	13:45	T18a	遠方超銀河団 Cl 1604 + 43 領域における弱 い重力レンズ現象に基づく質量集中検出 梅津敬一、二間瀬敏史 (東北大理)
	T08b	「あすか」による A1060 銀河団のマッピ ング観測 古庄多恵、影井智宏、石崎欣尚、山崎 典子、大橋隆哉 (都立大理)、柴田 亮 (宇宙研)、江澤 元 (天文台野辺山)	14:00	T19a	銀河群からの硬 X 線成分の検証 松下恭子 (MPE)、大橋隆哉 (都立大 理)、牧島一夫、中澤和洋、磯部直樹 (東大理)、深沢泰司 (広島大理)
	T09b	最近傍の重力レンズ銀河団候補 A3408 の「あすか」による観測 片山晴善 (阪大理)、林田 清、橋本谷 磨志	14:15	T20a	コンパクト銀河群周縁部のオプティカ ル・エンベロープの研究 西浦慎悟、塩谷泰広、谷口義明 (東北大理)
	T10b	Fossil Galaxy Group—RX J1340.6 + 4018 の ASCA による観測 久志野彰寛、山崎典子、大橋隆哉 (都 立大理)、柴田 亮 (宇宙研)、菊池健 一 (宇宙開発事業団)	ポスターのみ	T21c	Tsallis 統計による銀河団の質量密度 羽生千亜紀、羽部朝男 (北海道大理)
10:45	T11b	EGRET 未同定 GeV ガンマ線源は形成 途中の「ガンマ線銀河団」か？ 戸谷友則 (国立天文台)、北山 哲 (都 立大理)	T22c	Color Cut 及び増感法を用いた新銀河団 検出法 後藤友嗣、関口真木 (東大宇宙線研)	

U. 宇宙論 (B会場)

10/6(金)	
14:00	U01a ミリ波電波カメラによる SZ 効果観測計画 IX 坪井昌人、田邊弥一郎 (茨城大)、春日隆 (法政大)、松尾 宏 (国立天文台)、坂本彰弘、久野成夫、宮崎敦史 (NRO)
14:15	U02a Cosmic shear による宇宙モデルの決定 佐藤潤一、高田昌広 (東北大理)、Jing Yipeng (東大理)、二間瀬敏史 (東北大理)
14:30	U03a ハローのバイアスを考慮した銀河団分布のジーンズ統計 日影千秋、樽家篤史、須藤 靖 (東大理)
14:45	U04a 高赤方偏移天体における等密度統計について 樽家篤史 (東京大理)、山本一博 (広島大理)
15:00	U05a 矮小銀河スケールにカットオフのある密度揺らぎの生成 横山順一 (阪大理)
15:15	U06a CMB の銀河団による偏光とポテンシャル揺らぎの再構成 瀬戸直樹、佐々木 節 (阪大理)
15:30	U07a ビッグバン元素合成、宇宙背景輻射の観測によるレプトン数の制限 折戸 学、梶野敏貴 (国立天文台理論)
.....	
ポスターのみ	
	U08c 三重 QSO 系 Q1623 の KECK HIRES スペクトルにおける Lyman - α forest の解析：空間分布と数密度 比田井昌英 (東海大文明研)、W.L.W. Sargent、L. Lu、T.A. Barlow、M. Rauch (Caltech)
	U09c 赤方偏移推定誤差の重力レンズ像拡大率への影響 杉之原真紀 (国立天文台)、杉之原立史 (東大理)
	U10c Limits on Neutrino Mass from Cosmic Structure Formation 福来正孝 (東大宇宙線研)、○劉国欽 (京大理、国立天文台)、杉山直 (国立天文台)

V. 地上観測機器 (E 会場)

<p>10/5(木)</p> <p>09:30 V01a TAMA300 の現状 (7) 藤本真克 (国立天文台)、他 TAMA グループ (京大基研、高工研、国立天文台、電通大、東大宇宙線研、東大新領域、東大地震研、東大理、阪大理、宮城教育大)</p> <p>09:45 V02a TAMA300 データ取得および解析の現状について 辰巳大輔 (国立天文台)、神田展行 (宮教大)、他 TAMA collaboration</p> <p>10:00 V03a すばる望遠鏡の総合性能と共同利用 安藤裕康 (国立天文台ハワイ)、ほかハワイ観測所すばるプロジェクトチーム</p> <p>10:15 V04a マウナケア予測気温とすばる主鏡の温度制御 宮下暁彦 (国立天文台)、Steven Businger、Richard Knabb (ハワイ大学)、井美克己 (国立天文台)</p> <p>10:30 V05a 南アフリカ天文台に設置する口径 1.4m 経緯儀望遠鏡の製作 栗田光樹夫、加藤大輔、長田哲也、河合利秀、平尾孝憲、佐藤修二 (名大理)、Ian Glass (南アフリカ天文台)、田中培生 (東大理)、杉谷光司 (名市大)、西村有二、関 敬之、桑田宗晴 (西村製作所)</p> <p>10:45 V06a 西はりま天文台の 60cm 望遠鏡用の赤外線カメラの完成 Jose Ishitsuka (U. of Tokyo)、Toshihiro Omodaka (Kagoshima U.)、Masaki Morimoto、Takehiko Kuroda (NHAO)、Takeshi Miyaji (NAOJ)、Munetaka Ueno (U. of Tokyo)、Takehiko Wada (ISAS)、Fumihiko Ieda (Osaka Educational U.) and Noritaka Tokimasa (NHAO)</p> <p>11:00 V07a 飛騨天文台ドームレス太陽望遠鏡での波面乱れ測定実験 北井礼三郎、上野悟、吉村圭司、高津裕通 (京大理附属天文台)、末松芳法 (国立天文台)、馬場直志、北 洋 (北大工)、三浦則明 (北見工大)</p>	<p>10/5(木)</p> <p>11:15 V08a 30m 基線光赤外干渉計 MIRA-I.2 の建設 (2) 吉澤正則、佐藤弘一、西川 淳、福島登志夫、鳥居泰男、鈴木駿策、大石奈緒子、松田 浩、久保浩一、岩下 光、David Saint-Jacques (国立天文台)、小谷隆行 (東大理)、根本善一、加倉井明宏 (法政大工)</p> <p>11:30 V09a 幾何学的位相によるナル干渉計 村上尚史、馬場直志、石垣 剛 (北大工)</p> <p>11:45 V10b 光ファイバー結合光赤外干渉計の基礎実験 III 佐藤弘一、西川 淳、吉澤正則、福島登志夫、大石奈緒子、鳥居泰男、松田浩、久保浩一、岩下 光、鈴木駿策 (国立天文台)、小谷隆行 (東大理)、根本善一、加倉井明宏 (法政大工)</p> <p>V11b すばる望遠鏡のためのレーザガイドシステムの開発 早野 裕、大屋 真 (通総研)、高見英樹、高遠徳尚、鎌田有紀子、家 正則 (国立天文台)</p> <p>V12b Point-pattern matching software と星表による望遠鏡指向精度の改善 柳澤顕史 (国立天文台岡山)</p> <p>V13b CANGAROO7/10m 望遠鏡の観測報告 樺田淳子 (東工大理)、他 CANGAROO チーム (茨城大理、茨城医療大、宇宙科学研、大阪市大理、神奈川大工、京大理、甲南大理、国立天文台、東海大理、東工大理、東大宇宙線研、名大 STE 研、山形大理、山梨学院大、理研、アデレード大、オーストラリア国立大)</p> <hr/> <p>10/6(金)</p> <p>09:00 V14a すばる望遠鏡観測装置「IRCS」の総合性能評価 寺田 宏、小林尚人、Mark Weber、後藤美和、Bob Potter (国立天文台ハワイ観測所)、Alan Tokunaga (ハワイ大学天文学研究所)、ハワイ大学 IRCS チーム、すばるチーム</p> <p>09:15 V15a HDS (高分散分光器) の開発 川野元 聡、青木和光、安藤裕康、泉浦秀行、岡田則夫、沖田喜一、野口邦男、渡辺悦二 (国立天文台)、田中 済 (三菱電機)、神戸栄治 (防衛大)、本田敏志 (総研大)、佐藤文衛 (東大)</p>
---	--

<p>10/6(金)</p> <p>09:30 V16a OH夜光除去分光器 岩室史英、舞原俊憲(京大理)、本原顕太郎(国立天文台ハワイ)、原島隆、秦隆志(京大理)、すばる望遠鏡チーム</p> <p>09:45 V17a 超伝導トンネル接合素子を用いた近赤外～可視～紫外～極端紫外域の一光子分光検出器の開発 大谷知行、池田時浩、奥隆之、加藤博、川井和彦、佐藤広海、清水裕彦、瀧澤慶之、宮坂浩正、渡辺博(理研)、仲川博、赤穂博司、青柳昌宏(電総研)</p> <p>10:00 V18a 近赤外3色同時撮像カメラ SIRIUSの開発および性能評価(検出器系) 永山貴宏、長嶋千恵、中島康、禪野孝広、河合利秀、長田哲也、佐藤修二(名大理)、中屋秀彦(国立天文台ハワイ)、田村元秀(国立天文台)、杉谷光司(名古屋市大)</p> <p>10:15 V19a 京都三次元分光器第2号機 V. 赤外シミュレータによる総合性能評価 菅井肇、大谷浩、尾崎忍夫、服部堯、河合篤史(京大理)、他京都三次元分光器チーム、武山芸英((株)ジェネシア)</p>	<p>10/6(金)</p> <p>V23b 可視・近赤外撮像分光観測装置 TRISPECの開発:分光、偏光機能 渡辺誠(名大理)、中屋秀彦(国立天文台ハワイ)、禪野孝広、石井未来、岡田誠、山崎教之、山中友介、佐藤修二、長田哲也、平尾孝憲、河合利秀、中村洋子、佐藤利和(名大理)、海老塚昇(理研)、山室智康(ジェネシア)、J.Hough(Hertfordshire大学)、姚永強(紫金山天文台)</p> <p>10:45 V24b 京都三次元分光器第2号機 VII. CCDカメラシステムの性能評価 尾崎忍夫(京大理)、その他京都3Dチーム</p> <p>V25b 京都三次元分光器第2号機 VII. 姿勢差の評価 服部堯、菅井肇、尾崎忍夫(京大理)、他京都三次元分光器チーム</p> <p>V26b 京都三次元分光器第2号機 VIII. 赤外シミュレータによる試験観測 河合篤史、菅井肇、尾崎忍夫、服部堯、大谷浩(京大理)、林忠史(富山市科学文化センター)、他京都三次元分光器チーム</p>
<p>10:30 V20b 県立ぐんま天文台 150cm 望遠鏡ナスマス分光器 橋本修、Hakim L. Malasan、田口光、清水実(県立ぐんま天文台)、武山芸英、山室智康(ジェネシア)</p> <p>V21b チャージシャッフリングを用いた CCD 電荷転送効率の測定 小織雅和、石垣剛、馬場直志(北大工)、尾崎忍夫、服部堯、大谷浩(京大理)</p> <p>V22b 近赤外3色同時撮像カメラ SIRIUSの開発および性能評価(光学系) 長嶋千恵、永山貴宏、中島康、河合利秀、長田哲也、佐藤修二(名大理)、杉谷光司(名古屋市立大)、田村元秀(国立天文台)</p>	<p>14:00 V27a ASTE 計画進捗状況 山本智(東大理)、川辺良平(国立天文台)、ほか ASTE チーム(国立天文台、東大理、東大天文センター、名大理、大阪府大、千葉大、豊田高専)</p> <p>14:15 V28a 新 10m サブミリ波望遠鏡 -- アンテナの初期性能 江澤元、浮田信治、河野孝太郎、佐藤直久、高橋敏一、中西康一郎、山口伸行(国立天文台野辺山)、岡朋治、岩田充弘(東大理)、米倉覚則(大阪府立大)</p> <p>14:30 V29a 新 10m サブミリ波望遠鏡による試験観測 徂徠和夫、浮田信治、江澤元、河野孝太郎、砂田和良、関本裕太郎、中西康一郎、岩下浩幸、高橋敏一(国立天文台野辺山)、長谷川哲夫、澤田剛士(東大大学院天文学教育研究センター)、酒井剛(東大大学院物理)</p>

V. 地上観測機器

10/6(金)		10/7(土)	
14:45	V30a ASTE サブミリ波望遠鏡用 On-The-Fly マッピングシステムの開発 山口伸行 (国立天文台野辺山)、大西利和、早川貴敬 (名大理)、徂徠和夫、浮田信治、立松健一、江澤 元、砂田和良 (国立天文台野辺山)	09:00	V38a RADX- 4 FFT による空間時間 FFT プロセッサの構成と 4 進パラメータ 大師堂経明、遊馬邦之、田中尚樹、竹内 央、国吉雅也、後藤健太郎、鈴木智也、水木さおり、水野桂寿、福岡浩二、梅村朋弘 (早稲田大学)
15:00	V31a フォトニクス技術による超広帯域サブミリ波ヘテロダイン観測法の開発 石黒正人、野口 卓、高野秀路、上田暁俊、関本裕太郎、松尾 宏 (国立天文台) 松浦周二 (宇宙研)、石橋忠夫 (NTT フォトニクス研究所)、盛岡敏夫、川西悟基 (NTT 未来ねっと研究所)	09:15	V39a 那須電波干渉計デジタル系のシミュレーションによる評価 竹内 央、田中尚樹、大師堂経明 (早大教育)、國吉雅也、後藤健太郎、水野桂寿、鈴木智也、水木さおり、福岡浩二、梅村朋弘、鷗沢 憲、松村寛夫 (早大理工)、遊馬邦之 (早大理工総セ)
15:15	V32a 光技術を応用したサブミリ波位相・周波数制御技術の開発 上田暁俊、関本裕太郎、石黒正人 (国立天文台)	09:30	V40a 位相補償用 22 GHz 水蒸気ラジオメータの開発 朝木義晴 (宇宙研)、小林秀行、石黒正人 (国立天文台)
15:30	V33a 大型ミリ波サブミリ波干渉計のための分光相関器システムの開発 II. 超高速 A/D 変換の実験 奥村幸子 (国立天文台野辺山)、百瀬宗武 (茨城大)、松本欣也 (九州東海大)、川口則幸、井口 聖、近田義広 (国立天文台)	09:45	V41a ギガビットデジタルフィルタ試作機試験結果 井口 聖 (電通大)、川口則幸 (国立天文台)、川上和幸 (沖電気/エレクトクス工業)
15:45	V34b Martin & Puplett 型 Forier 分光器の開口合成への応用 ~実験室実証実験経過報告~ 大田 泉、服部 誠 (東北大天文)、松尾 宏 (国立天文台)、柴田行男 (東北大科学計測研究所)、浜地芳宏、荒井正範、奥田武志、須田浩志 (東北大天文)	10:00	V42a 臼田 64m アンテナにおけるミリ秒パルサー観測計画 花土ゆう子、細川瑞彦、関戸 衛、渋谷靖久、今江理人 (通信総研)、平林久 (宇宙研)、藤沢健太、小林秀行 (国立天文台)
	V35b ASTE 10 m アンテナ用第 2 焦点受信機的设计 横川創造、関本裕太郎、小川英夫、安藤浩哉、河野孝太郎、川辺良平、他 ASTE グループ	10:15	V43a VLBI 標準インターフェース (VSI-H) 小山泰弘、近藤哲朗、中島潤一、関戸衛 (通信総研鹿島)、木内 等 (通信総研)、川口則幸 (国立天文台)
	V36b ASTE 搭載サブミリ波カメラの開発 II 有吉誠一郎 (東北大理)、松尾 宏 (国立天文台)、武田正典、野口 卓 (国立天文台野辺山)	10:30	V44a 受信部を一体化した 2、8 GHz 観測用の小型共軸給電部の試作 (1) 春日 隆、三牧宏彬、中野久松 (法政大学工)
	V37b UTC フォトダイオードによるフォトニック LO 実験 高野秀路、関本裕太郎、石黒正人 (国立天文台)	10:45	V45a LEO 衛星を利用した電波望遠鏡のビームパターン計測 西尾正則、蒲原龍一、面高俊宏 (鹿児島大理)、久保大史、宮崎智行 (鹿児島大工)
		11:00	V46a GPS 時刻同期型 NTP サーバーの時刻精度について 佐藤克久、堀合幸次、浅利一善、酒井俐、石川利昭、金子芳久 (国立天文台水沢)

10/7(土)

11:15

- V47b** (2+1)次元空間時間FFTプロセッサの係数決定とアナログテスト
遊馬邦之(埼玉桶川西高)、田中尚樹、竹内 央、国吉雅也、後藤健太郎、水野柱寿、鈴木智也、水木さおり、福岡浩二、梅村朋弘、大師堂経明(早大)、小林厚史(アルゴハイテック)
- V48b** VERA における2ビーム位相較正法の検討
本間希樹(国立天文台)、VERA 推進グループ
- V49b** VERA における像合成誤差解析シミュレーション
今井 裕(国立天文台 VERA 推進室)
- V50b** リアルタイム VLBI による電波源強度変化のモニター
小山泰弘、近藤哲朗(通信総研鹿島)、栗原則幸(通信総研)

- V55c** VERA デジタル処理バックエンドシステムの開発と性能評価について
佐藤克久、川口則幸、井口 聖、宮地竹史、久慈清助(国立天文台)、木内等(通総研)、小関研介、森野貴行(沖電気)、沼田一弘(沼田ソフトウェア事務所)

ポスターのみ

- V51c** CANGAROO-III 計画の現状
森 正樹(東大宇宙線研)、他 CANGAROO チーム(茨城大理、茨城医療大、宇宙科学研、大阪市大理、神奈川大工、京大理、甲南大理、国立天文台、東海大理、東工大理、東大宇宙線研、名大STE 研、山形大理、山梨学院大、理研、アデレード大、オーストラリア国立大学)
- V52c** ASTE 新 10m サブミリ波アンテナの温度特性
佐藤直久、浮田信治(NRO)、H.Riewaldt(Lund Observatory, Sweden)
- V53c** ギガビット VLBI 観測の現状と初期性能評価
中島潤一、小山泰弘、関戸 衛、近藤哲朗(通信総研鹿島)、木村守孝(東大)
- V54c** 天体構造が VERA の位置決定精度に与える影響 II
澤田-佐藤 聡子(国立天文台 VERA 推進室)、VERA グループ

W. 飛翔体観測機器 (B会場)

<p>10/7(土) 09:00 W01a ASTRO-F (IRIS) 搭載 SiC 望遠鏡の開発 (II) 金田英宏 (宇宙研)、尾中 敬 (東大理)、村上 浩 (宇宙研)、三浦紳治、山城亮治、杉山喜和 (NIKON)、川田光伸 (名大理)、他 ASTRO-F チーム</p> <p>09:15 W02a ASTRO-F 冷却系の開発 中川貴雄 (宇宙研)、ASTRO-F チーム</p> <p>09:30 W03b 赤外線天文衛星 ASTRO-F の現状 村上 浩 (宇宙研)、ASTRO-F チーム</p> <p>W04b ASTRO-F / IRC 電気系の設計 和田武彦、片ざ宏一、村上浩 (宇宙研)、上野宗孝 (東大総合文化) 他 ASTRO-F / IRC チーム</p> <p>W05b ASTRO-F (IRIS) 搭載用極低温電子回路の評価 日比康詞、芝井 広、川田光伸、平尾孝憲、渡部豊喜、永田洋久、廣岡伸弥、佐藤彰子 (名大理) 野田 学 (名古屋科学館)、中川貴雄、松浦周二、関 弘和、磯崎洋祐 (宇宙研)、土井靖生 (東大総文)、藤原幹生 (通信総研)、他 ASTRO-F/FIS チーム</p> <p>W06b ASTRO-F 搭載赤外カメラ IRC の開発の現状 松原英雄 (宇宙研)、他 ASTRO-F/IRC チーム</p> <p>09:45 W07b ASTRO-F (IRIS) 搭載中間赤外カメラ (MIR-L) 光学系の性能評価 前田一平 (都技大)、松原英雄 (宇宙研)、尾中 敬、金 宇征、根岸武利 (東大天文)、他 ASTRO-F/IRC チーム</p> <p>W08b ASTRO-F 搭載中間赤外カメラ (IRC-MIR-S) 光学系の性能評価 金 宇征、松原英雄 (宇宙研)、前田一平 (都技大)、尾中 敬、根岸武利 (東大天文)、他 ASTRO-F/IRC チーム</p> <p>W09b ASTRO-F (IRIS) 搭載遠赤外線サーベイ観測装置 FIS の開発 川田光伸 (名大理)、他 ASTRO-F/FIS チーム</p> <p>W10b ASTRO-F (IRIS) 搭載用遠赤外線フーリエ分光器の開発 V 宇津野博士、川田光伸、芝井 広 (名大理)、高橋英則 (科学技術振興事業団/名大理)、他 ASTRO-F/FIS チーム</p>	<p>10/7(土) 10:00 W11b ASTRO-F (IRIS) 搭載遠赤外線圧縮型 Ge:Ga2 次元アレイ検出器開発 II 廣岡伸弥、芝井 広、佐藤彰子、川田光伸、渡部豊喜、平尾孝憲、永田洋久、日比康詞 (名大理)、土井靖生 (東大総文)、中川貴雄 (宇宙研)、卷内慎一郎 (東大理)、廣本宜久、藤原幹生 (通信総研)、他 ASTRO-F/FIS チーム</p> <p>W12b GaAs JFET をもちいた遠赤外線検出器読み出し回路の性能評価 奥村健市、廣本宜久 (通信総合研究所)</p> <p>W13b IRTS 搭載中間赤外分光器 MIRS の絶対較正 石原大助、尾中 敬、Kin-Wing Chan、田辺俊彦 (東大理)、山村一誠 (宇宙研)</p> <p>W14b FIRBE (Far-Infrared Balloon - Borne Experiment) の特徴と観測計画 手島隆文、芝井 広、川田光伸、有村成功、田中 誠、廣岡伸弥 (名大理)、土井靖生 (東大総文)、成田正直、中川貴雄、金田英宏 (宇宙研)、奥田治之 (ぐんま天文台)、卷内慎一郎 (東大理)、広本宜久 (通信総研)、T.N.Rengarajan、R.P.Verma、S.K.Ghosh (TIFR)</p> <p>10:15 W15b Solar-B 可視光望遠鏡 (SOT) の開発進捗状況 一本 潔、末松芳法、清水敏文、花岡庸一郎、大坪政司、永田伸一、田村友範、常田佐久 (国立天文台)、松崎恵一、小杉健郎 (宇宙研)、秋岡真樹 (通総研)、三神 泉、齊藤秀朗、井上登志夫、島田貞憲 (三菱電機)、海道宣昭 (三菱スペースソフトウェア)、武山芸英、山室智康 (ジェネシア)、SOT 開発グループ</p> <p>W16b Solar-B 可視光磁場望遠鏡 (SOT) 搭載用ピエゾ素子評価試験 永田伸一 (宇宙研)、清水敏文、一本 潔、末松芳法、常田佐久 (国立天文台)、伊藤 修、柏木康弘、三木史朗、吉田憲正、田畑真毅、小出来一秀、遠藤真 (三菱電機)、他可視光望遠鏡開発グループ</p>
---	--

10/7(土)	<p>W17b Solar - B 可視光望遠鏡コリメータレンズ部の開発進捗状況 末松芳法、一本 潔、常田佐久 (国立天文台)、武山芸英、榊原佳子、山室智康 (ジェネシア)、鈴木正治、岩井忠之 (キヤノン)、松下 匡、斉藤秀朗、大島丈治 (三菱電機)、SOT 開発グループ</p>	10/7(土)	<p>13:30 W26a 気球搭載用硬X線望遠鏡の生産の現状とその性能評価 野本憲太郎、山下広順、田原 譲、小賀坂康志、田村啓輔、芳賀一壽、岡島崇、市丸 智、高橋誠司、鬼頭秀朗、後藤有史、福田真一、加藤正磨、佐竹宏之 (名大理)、国枝秀世 (宇宙研)、他名大 X 線天文グループ</p>
	<p>W18b 電波天文衛星用フィルムレンズアンテナ 氏原秀樹 (総研大)、近田義広 (国立天文台)</p>	<p>13:45 W27a 多層膜スーパーミラーレプリカ鏡の開発 福田真一、小賀坂康志、岡島 崇、高橋誠司、加藤正磨、佐竹宏之、田原譲、山下広順、田村啓輔、芳賀一壽、市丸 智、鬼頭秀郎、後藤有史、野本憲太郎 (名大理)</p>	
10:30	<p>W19b CdTe を使った太陽フレアの硬X線高精度スペクトル観測 小林 研 (東大理)、常田佐久、田村友範 (国立天文台)、勝川行雄、久保雅仁 (東大理)、斎藤芳隆、太田茂雄、山上隆正 (宇宙科学研)、森 国城 (クリアパルス)</p>	<p>14:00 W28a テルル化カドミウム半導体を用いた新しい硬X線、ガンマ線撮像素子の開発 (1) 渡辺 伸、佐藤悟朗、古宇田学、高橋忠幸 (宇宙科学研)</p>	
	<p>W20b 気球環境における CdTe 硬X線検出器のパフォーマンス 斎藤芳隆、山上隆正 (宇宙科学研究所)、森 国城 (クリアパルス (株))</p>	<p>14:15 W29a XIS 読み出し回路を用いた国産 CCD の性能評価 馬場 彩、辻本匡弘、今西健介、河野誠、村上弘志、濱口健二、鶴 剛、小山勝二 (京大物理)</p>	
	<p>W21b 薄膜結晶による X 線分光 小池哲司、緒方英樹、北本俊二、竹田精治 (阪大理)</p>	<p>14:30 W30a フィッティング法を用いた X 線イベント解析による CCD 内部構造の解明 河野 誠、辻本匡弘、村上弘志、今西健介、馬場 彩、鶴 剛、小山勝二 (京大理)</p>	
	<p>W22b 楕円フィッティング法による X 線イベントの解析 辻本匡弘、今西健介、馬場 彩、河野誠、鶴 剛、小山勝二 (京大理)</p>	<p>14:45 W31a TES 型 X 線マイクロカロリメータと SQUID アンプ読みだし系の開発 山崎正裕、満田和久、藤本龍一、伊予本直子、宮崎利行、大島 泰、二元和朗 (宇宙研)、庄子習一、工藤寛之、横山雄一 (早大理工)、大橋隆哉、山崎典子、石崎欣尚、伊藤千枝、藤本弦、影井智宏 (都立大)</p>	
10:45	<p>W23b 「あすか」衛星 GIS 検出器の軌道上バックグラウンドの推移 石崎欣尚、影井智宏、大橋隆哉 (都立大理)、菊池健一 (宇宙開発事業団)</p>	<p>13:00 W24a Solar-B XRT カメラ開発: 裏面照射型 CCD 内での電荷分散の測定 鹿野良平、熊谷收可、田村友範、原弘久、常田佐久 (国立天文台)、坂尾太郎 (宇宙研)、勝川行雄 (東大理)、常深 博 (阪大理)</p>	
13:00		<p>13:15 W25a 国際宇宙ステーション搭載全天 X 線監視装置 (MAXI) 搭載用 大面積位置敏感型ガス比例計数管の開発 杉崎 睦、白崎裕治、松岡 勝 (NASDA)、三原建弘、桜井郁也、河合誠之、吉田篤正 (理研)</p>	

X. 情報処理 (B会場)

<p>10/5(木)</p> <p>09:30 X01a 自己重力多体系専用計算機 GRAPE - 6 の開発状況 牧野淳一郎 (東大理)、古賀勝基、福重俊幸 (東大総文)、泰地真弘人 (統数研)</p> <p>09:45 X02a 位相拘束型リチャードソン・ルーシー法によるスペックル像再生 細川貴史、馬場直志 (北大工)</p> <p>10:00 X03a VPP700 によるマウナケア山頂数値気象予報 Richard Knabb、Steven Businger (ハワイ大学)、○小笠原隆亮、関口和寛 (国立天文台)</p> <p>10:15 X04b 新 VSOP 観測データアーカイブの作成 村田泰宏、平林 久、P.Edwards (宇宙研)、ほか VSOP 運用グループ (宇宙研、国立天文台、NRAO、DRAO)</p>	<p>10/5(木)</p> <p>X05b 宇宙赤外線望遠鏡 IRTS による観測のデータベース化とデータアーカイブ 高橋英則 (科学技術振興事業団/名大理)、芝井 広 (名大理)、他 IRTS チーム</p> <p>X06b 宇宙シミュレーション・ネットラボラトリーシステムの開発 (1): プロジェクト概要 松元亮治 (千葉大理)、嶺重 慎 (京大理)、富阪幸治 (国立天文台)、松本 紘 (京大宙空研)、荻野竜樹 (名大 STE 研)、藤本正樹 (東工大)、他ネットラボラトリーチーム</p> <p>X07b 天体回転プラズマシミュレータの開発 (4): 熱伝導モジュールの並列化 中村賢仁 (科学技術振興事業団)、松元亮治 (千葉大理)、宮路茂樹 (千葉大自然)</p>
--	--

Y. 天文教育・その他 (B会場)

<p>10/5(木)</p> <p>10:30 Y01a 来館者主体のプラネタリウムプログラム作成の試み~視聴前の子どもの認識状態に基づいて~ 高橋真理子 (山梨県立科学館)、松森靖夫 (山梨大)</p> <p>10:45 Y02a 研究機関が行う体験学習の教育的効果の検証 縣 秀彦 (国立天文台)</p> <p>11:00 Y03b グリズム分光器による広角星野分光写真 大西浩次 (長野高専)、粟野諭美 (岡山天文博物館)、阿部新助 (総研大)、海老塚 昇 (理研)、渡部潤一 (国立天文台)</p> <p>11:00 Y04b 『宇宙スペクトル博物館: 電波編 一宇宙が奏でるハーモニー』 尾林彩乃 (西はりま天文台)、粟野諭美 (岡山天文博物館)、田島由起子 (サイエンスデザイナー)、半田利弘 (東大天文センター)、福江 純 (大阪教育大)</p>	<p>10/5(木)</p> <p>Y05b 「液体レンズ」望遠鏡 大西浩次 (長野高専)</p> <p>Y06b PASJ に投稿すべきか? XIII 1994 年に発表された日本の天文学・天体物理学論文の被引用頻度 寿岳 潤 (文明研究所)</p> <p>11:15 Y07b パワーズオープン windows 版の作成 沢 武文 (愛知教育大)</p> <p>ポスターのみ</p> <p>Y08c パワーズオープン名古屋版の制作と活用 毛利勝廣、鈴木雅夫、野田学 (名古屋市科学館)、山本晃裕 (名大人間情報学研究科、富士通)、北原政子 (名古屋市科学館)、安田孝美 (名大情報文化学部)、澤武文 (愛知教育大)、山田 卓 (DOMIC)</p> <p>Y09c 宇宙・天文現象のための 3DCG 制作事例集の作成 松本欣也 (九州東海大応用情報)</p>
--	---